

琵琶湖博物館業績目録

3号

1998年度



LAKE BIWA MUSEUM
琵琶湖博物館

Performance Records of the Lake Biwa Museum, No.3

Fiscal 1998

Edited by the Lake Biwa Museum (Chief editor: Katsuki NAKAI)

Published by the Lake Biwa Museum

Oroshimo-cho 1091, Kusatsu, Shiga 525-0001, Japan

© Lake Biwa Museum, January 2000

All rights reserved

Printed by Higashi Insatsu in Japan

琵琶湖博物館業績目録

第 3 号

1998年度

滋賀県立琵琶湖博物館 編

(編集責任者：中井 克樹)

滋賀県立琵琶湖博物館

2000年3月

目 次

収録内容		2
館長		
川那部 浩哉	KAWANABE, Hiroya	3
湖沼研究系		
中島 経夫	NAKAJIMA, Tsuneo (総括学芸員)	8
楠岡 泰	KUSUOKA, Yasushi (主任学芸員)	10
ロシター, アンドリュー	ROSSITER, Andrew (主任学芸員)	12
戸田 孝	TODA, Takashi (主任学芸員)	14
中井 克樹	NAKAI, Katsuki (主任学芸員)	16
松田 征也	MATSUDA, Masanari (学芸員)	20
芦谷 美奈子	ASHIYA, Minako (学芸員)	23
中藤 容子	NAKATO, Yoko (学芸員)	25
牧野 久実	MAKINO, Kumi (学芸技師)	26
芳賀 裕樹	HAGA, Hiroki (学芸技師)	28
亀田 佳代子	KAMEDA, Kayoko (学芸技師)	30
里口 保文	SATOGUCHI, Yasufumi (学芸技師)	32
集水域研究系		
嘉田 由紀子	KADA, Yukiko (総括学芸員)	34
高橋 啓一	TAKAHASHI, Keiichi (専門学芸員)	38
草加 伸吾	KUSAKA, Shingo (主任学芸員)	40
内田 臣一	UCHIDA, Shigekazu (主任学芸員)	42
フレネット, ジャン=ジャック	FRENETTE, Jean-Jacques (主任学芸員)	44
木田 千代美	KIDA, Chiyomi (学芸員)	46
八尋 克郎	YAHIRO, Katsuro (学芸技師)	48
応用地域研究系		
前畑 政善	MAEHATA, Masayoshi (専門学芸員)	50
水上 二己夫	MIZUKAMI, Fumio (専門員)	52
用田 政晴	YODA, Masaharu (主任学芸員)	53
美濃部 博	MINOBE, Hiroshi (調査員)	55
桑村 邦彦	KUWAMURA, Kunihiko (主査)	57
桑原 雅之	KUWAHARA, Masayuki (学芸員)	59
宮本 真二	MIYAMOTO, Shinji (学芸員)	61

博物館学研究系

布谷 知夫	NUNOTANI, Tomoo	(総括学芸員)	63
秋山 廣光	AKIYAMA, Hiromitsu	(主任学芸員)	66
高橋 政宏	TAKAHASHI, Masahiro	(主査 [教員])	69
江島 穰	EJIMA, Minoru	(主査 [教員])	72
グライガー, マーク ジョセフ	GRYGIER, Mark Joseph	(主任学芸員)	75
橋本 道範	HASHIMOTO, Michinori	(学芸技師)	77

収録内容

1. この業績目録には、滋賀県立琵琶湖博物館の学芸職員の、1998年度（1998年4月から1999年3月まで）の業績内容が収録されています。
2. この業績目録には、次の項目に該当する業績を収録しました。

印刷物

- ・ 学術論文
- ・ 専門分野の著作
- ・ 一般向けの著作

研究活動に関する業績

- ・ 学会・研究会での発表など
- ・ 研究プロジェクト等への参加
- ・ 学会等の役職・運営、論文の査読など
- ・ 大学での講義・実習、学生の指導など

博物館事業に関する業績

- ・ 交流・サービス活動
- ・ 情報整備活動
- ・ 資料整備活動
- ・ 展示活動
- ・ 企画調整事業

館内人事、館外活動等に関すること

- ・ 館内の人事
- ・ 海外渡航
- ・ 館外の活動

館長

印刷物

【専門分野の著作】

- Kawanabe, H. [ed.] (1998) *Annual Report 1997 under Creative Basic Research Program, An Integrated Study on Biodiversity Conservation under Global Change and Bio-inventory Management System*. x + 206 pp. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- Kawanabe, H. (1998) Preface. In: Kawanabe, H. [ed.] *Annual Report 1997 under Creative Basic Research Program, An Integrated Study on Biodiversity Conservation under Global Change and Bio-inventory Management System*. pp. iii-iv. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 川那部 浩哉 (1998) 琵琶湖の魚・世界の魚. In: 中島 経夫・中藤 教子 [編] 水がはぐくむ生命 (いのち) : 琵琶湖と魚と人間—東アジア世界の中で. 琵琶湖博物館研究調査報告, (11): 1-11.
- 川那部 浩哉 (1998) 応用生態工学とは何か、それは今後どのように進めていくべきか. 応用生態工学, 1: 1-6.

【一般向けの著作】

- Kawanabe, H. (1998) Nomination process report. In: *Report of the 1996 Biwako Prize for Ecology*. pp. 9-10. Shiga Prefectural Government, Otsu.
- Kawanabe, H. (1998) Congratulatory address. In: *Report of the 1997 Biwako Prize for Ecology*. pp. 13-14. Shiga Prefectural Government, Otsu.
- 川那部 浩哉・川端 善一郎 (1998) 「食う・食われる」生きものたち. In: 沼田 真・河合 雅雄・日高 敏隆・濱田 隆士・松井 孝典 [編] 生命の地球：心の生まれた世界. pp. 185-215. 三友社出版, 東京.
- 川那部 浩哉 (1998) 「生命文化複合体」としての琵琶湖. 地図ニュース (日本地図センター), 307: 2
- 清水 幸男・川那部 浩哉・亀田 佳代子 (1998) 湖北の鳥と湖と. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (6): 2-3.
- 川那部 浩哉 (1998) はじめに. In: 中島 経夫・中藤 教子 [編] 水がはぐくむ生命 (いのち) : 琵琶湖と魚と人間—東アジア世界の中で. 琵琶湖博物館研究調査報告, (11): i.
- 川那部 浩哉 (1998) 内山りゅうさんの写真集に寄せて. In: 内山りゅう [著] アユ—日本の美しい魚. pp. 2-6. 平凡社, 東京.
- 川那部 浩哉 (1998) 湖と魚たちと音楽と 3 楽曲とイメージ：クーブラン・プーランク・サティに聴く. *Jupiter* (いずみホール), (50): 4-5.
- 川那部 浩哉 (1998) 善と悪とはうらおもて：さまざまな関係の総体が共生を育てる. In: P-Kies [編] ポンキッキーズ 101のメッセージ. pp. 152-153. ネスコ/文芸春秋社, 東京.
- 川那部 浩哉 (1998) はじめに. In: 嘉田 由紀子・小笠原 俊明 [編] 琵琶湖・淀川水系における水利用の歴史の変遷. 琵琶湖博物館研究調査報告, (6): 3.
- 川那部 浩哉 (1998) 魚々食紀 1 フナいろいろ. 月刊百科 (平凡社), 1998 (7): 20-23.
- 川那部 浩哉 (1998) 博物館へ行こう！「湖と人との関係」を扱う琵琶湖博物館. 歴博 (国立歴史民俗博物館), 89: 1.
- 川那部 浩哉 (1998) 湖と魚たちと音楽と 4 ドナウ川とライン川：楽聖も賞味した魚類？ 絶滅寸前の種も. *Jupiter* (いずみホール), (51): 4-5.
- 川那部 浩哉 (1998) 魚々食紀 2 スズキ、細鱗に包まれた美味. 月刊百科 (平凡社), 1998 (8): 26-29.
- 川那部 浩哉 (1998) ごあいさつ. In: 八尋 克郎・内田 臣一・蜻蛉研究会 [編] 琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」図録. p. 1. 琵琶湖博物館, 草津.
- Harada, E. and Kawanabe, H. (1998) An interview with Hiroya Kawanabe. *Environmental Biology of Fishes*, 52: 67-72.
- ズボルフスキー, ベルニー・川那部 浩哉・芦谷 美奈子 (1998) こどもと博物館. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (7): 2-3.
- 川那部 浩哉 (1998) 現代の言葉：仕事とはこり. 京都新聞, 1998/8/24夕刊.
- 川那部 浩哉 (1998) 魚々食紀 3 ナマズの沖すき. 月刊百科 (平凡社), 1998 (9): 26-29.
- 川那部 浩哉 (1998) 湖と魚たちと音楽と 5 タンガニカ湖の魚をめぐる：「未来への旅シリーズ」と現代の音楽への「妄想」. *Jupiter* (いずみホール), (52): 4-5.
- 川那部 浩哉 (1998) 琵琶湖博物館の「ずるさ」. 学鏡 (丸善), 95 (10): 4-9.
- 川那部 浩哉 (1998) 生態学に関する〈大きな〉話：地球環境問題が変える生態学と哲学. 京都府生物教育会誌, 34: 75-86.
- 川那部 浩哉 (1998) 魚々食紀 4 最も旨いマス・サケ類は？ 月刊百科 (平凡社), 1998 (10): 26-29.
- 川那部 浩哉 (1998) 現代の言葉：京都の原住民. 京都新聞, 1998/10/16夕刊.
- 川那部 浩哉 (1998) 魚々食紀 5 エツとタウナギとタツノオトシゴと. 月刊百科 (平凡社), 1998 (11): 24-27.

- Kawanabe, H. (1998) Our expectations of the Lake Biwa Museum. In: United Nations Environment Programme - International Environmental Technology Centre [ed.] *International Shiga Forum on Technology for Water Management in the 21st Century*. p. 155. UNEP-IETC, Osaka and Kusatsu.
- 平山 郁夫・川那部 浩哉・嘉田 由紀子 (1998) 真・善・美は一体. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (8): 2-3.
- 横山 俊夫・藤井 譲治・遊磨 正秀・川那部 浩哉 [編] (1998) 安定社会の総合研究: ことがゆらぐ・もどる/なかだちをめぐって. 193 pp. 京都ゼミナールハウス, 京北.
- 川那部 浩哉 (1998) ことがくゆらぐ>とくもどる>のか、<安定社会>ではそうなのか、またくなかだち>とは、<ゆらぎ>をくもどす>ためのものか、その逆ははないのか、その他、その他のこと. In: 横山 俊夫・藤井 譲治・遊磨 正秀・川那部 浩哉 [編] 安定社会の総合研究: ことがゆらぐ・もどる/なかだちをめぐって. pp. 15-24. 京都ゼミナールハウス, 京北.
- 川那部 浩哉 (1998) 湖と魚たちと音楽と6 バイカル湖のほとりから: 水の精ルサルカに思いをはせカジカの脂に閉口. *Jupiter* (いづみホール), (53): 4-5.
- 川那部 浩哉 (1998) 魚々食紀6 ハモとフグ. *月刊百科* (平凡社), 1998 (12): 24-27.
- 川那部 浩哉 (1998) 内田俊郎著『動物個体群の生態学』. In: 内田俊郎著『動物個体群の生態学』リーフレット. p. 2. 京都大学学術出版会, 京都.
- 川那部 浩哉 (1998) 現代の言葉: 200万人の「おもさ」. *京都新聞*, 1998/12/10夕刊.
- 川那部 浩哉 (1998) 水辺の風景. *エコフロンティア* (京都大学生態学研究センター), (1): 1.
- 川那部 浩哉 (1999) 魚々食紀7 ゴマメ・タヅクリ・コトノバラ. *月刊百科* (平凡社), 1999 (1): 24-27.
- 川那部 浩哉 (1999) 菱田嘉一著『世界海産貝類コレクション大図鑑』発刊に寄せて. In: 世界海産貝類コレクション大図鑑パンフレット. 久美株式会社, 京都.
- 川那部 浩哉 (1999) ごあいさつ. In: 琵琶湖博物館 [編] 琵琶湖博物館第6回企画展示「絶滅と進化—動物化石が語る東アジア500万年」図録. p. 3. 琵琶湖博物館, 草津.
- 川那部 浩哉 (1999) 「新世紀の文化」創造 地球環境関西フォーラム国際協力分科会. *産経新聞*, 1999/1/7.
- 川那部 浩哉 (1999) 老舗に学ぼう展示の枠: 琵琶湖博物館フランス自然史科学博物館と提携. *朝日新聞*, 1999/1/16.
- 川那部 浩哉 (1999) 魚々食紀8 ホンモロコ. *月刊百科* (平凡社), 1999 (2): 24-27.
- 川那部 浩哉 (1999) 自然との関係を選び取る智恵を創り出そう. *AERA Mook 新環境学がわかる* (朝日新聞社, 東京), 4-8.
- 川那部 浩哉 (1999) 1998年読書アンケート. *みすず* (みすず書房), 442: 71-72.
- マクドナルド, アン・川那部 浩哉 (1999) 農業と環境: これまでとこれから. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (9): 2-3.
- 川那部 浩哉 (1999) 現代の言葉: 「良いところは褒めるな」. *京都新聞*, 1999/2/15夕刊.
- 川那部 浩哉 (1999) ごあいさつ. *滋賀県立琵琶湖博物館年報*, (2): i.
- 川那部 浩哉 (1999) 魚々食紀9 ボラ. *月刊百科* (平凡社), 1999 (3): 28-31.
- 川那部 浩哉 (1999) この人この話題: 市民参加、仏も注目. *日本経済新聞*, 1999/3/27夕刊.

【これまでの業績集に掲載されなかった1998年3月以前の印刷物】

- Kawanabe, H. (1997) Opening address for the International Workshop "New Scope on Boreal Ecosystems in East Siberia". In: Wada, E., Timoshkin, O. A., Fujita, N. and Tanida, K. [eds.] *DIWPA Series*, (2): 11-13. Center for Ecological Research, Kyoto University, Otsu.
- 鈴木 基之・川那部 浩哉・中村 雅美・牧野 昇・黒坂 三和子・岩槻 邦男・Bengtsson, B.-E. (1997) 外部評価. In: 奥田 重俊 [編] 横浜国立大学環境科学センター外部評価報告書. pp. 4-31. 横浜国立大学環境科学研究センター, 横浜.
- 川那部 浩哉 (1997) はじめに. In: 高橋 啓一 [編] 琵琶湖博物館開館までのあゆみ. pp. 1-2. 琵琶湖博物館, 草津.
- 川那部 浩哉 (1998) はじめに. In: 高橋 政宏・江島 稔 [編] 琵琶湖博物館利用の手引き (第2版). p. 13. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での講演など】

- 川那部 浩哉 (1998年3月5日) 生物多様性科学研究の西太平洋アジア地域ネットワーク. *OECDメガサイエンスフォーラム*. ホテルサルチョバーデン (ストックホルム、スウェーデン).
- 川那部 浩哉 (1998年3月24日) 陸水域の生物多様性. *生物多様性国際研究集会条項会議*. メキシコ国立大学 (メキシコシティ、メキシコ).
- 川那部 浩哉 (1998年3月26日) 西太平洋・アジア地域における生物科学研究. *生物多様性国際研究集会*. メキシコ国立大学 (メキシコシティ、メキシコ).
- 川那部 浩哉 (1998年4月2日) 地球環境大賞授賞式. 東京プリンスホテル (東京都港区). [挨拶]
- 川那部 浩哉 (1998年4月24日) 日本BICER協議会シンポジウム. 国立環境研究所 (茨城県つくば市). [挨拶]
- 川那部 浩哉 (1998年5月13日) 地球環境関西フォーラム100人委員会. 大阪中之島センタービル (大阪府大阪市). [挨拶]

- 川那部 浩哉 (1998年5月26日) 河川の自然復元に関する国際シンポジウム ([財] リバーフロント整備センター) . ニッショーホール (東京都港区) . [挨拶]
- 川那部 浩哉 (1998年6月3日) 日経アジア賞授賞式 (日本経済新聞社) . ホテルオークラ (東京都港区) . [挨拶]
- 川那部 浩哉 (1998年6月6日) 琵琶湖博物館に来て思う. 全日本博物館学会第1回見学研修会・1998年度総会・第24回研究大会. 琵琶湖博物館.
- 川那部 浩哉 (1998年6月10日) 長良川河口堰の本格稼働後の変化と河川生物学のありかた. 第5回長良川河口堰環境庁ヒアリング. 通産省別館 (東京都千代田区) .
- 川那部 浩哉 (1998年6月11日) 生命文化複合体としての琵琶湖. 全国土地収用研究会 (全国収用委員会連絡協議会) . よみうりホール (東京都千代田区) .
- 川那部 浩哉 (1998年6月15日) 多様性の世界—人間・動物・自然. 小原秀雄先生退職記念シンポジウム (小原秀雄先生退職記念シンポジウム実行委員会) . お茶の水スクエア・ホール. (東京都千代田区) .
- 川那部 浩哉 (1998年6月27日) 今琵琶湖研究で求められていること. 第1回琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館.
- 川那部 浩哉 (1998年7月24日) 西太平洋・アジア地域. 生物多様性科学会議. フィレンツェ大学 (フィレンツェ, イタリア) .
- 川那部 浩哉 (1998年8月11日) 陸水域における生物多様性研究. 国際陸水学会議. ダブリン大学ユニバーシティカレッジ (ダブリン, アイルランド) .
- 川那部 浩哉 (1998年9月15日) 陸水域における生物多様性科学研究. アフリカ魚類多様性国際会議. グラハムスタウン大学 (グラハムスタウン, 南アフリカ) .
- 川那部 浩哉 (1998年9月17日) アフリカ大陸の魚類多様性. アフリカ魚類多様性国際会議. グラハムスタウン大学 (グラハムスタウン, 南アフリカ) .
- 川那部 浩哉 (1998年9月23日) 日本における聖地物と文化多様性. 聖地物と文化・多様性会議. ユネスコ本部 (パリ, フランス) .
- 川那部 浩哉 (1998年11月1日) 第2回応用生態工学研究会総会および研究発表会. 発明会館 (東京都新宿区) .
- 川那部 浩哉 (1998年11月6日) シンポジウムの意義. BICER・DIWPA国際シンポジウム. パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市) .
- 川那部 浩哉 (1998年11月18日) 西太平洋アジア地域における生物多様性研究の発表. 太平洋学術会議中間会議. 中央研究所 (台北, 台湾) .
- 川那部 浩哉 (1998年12月11日~13日) 陸水生物多様性科学研究計画 生物多様性科学研究計画太平洋アジア地域ネットワーク. 生物多様性科学国際研究計画国際観測年会議及び科学委員会. ユネスコ本部 (パリ, フランス) .
- 川那部 浩哉 (1999年1月8日~10日) ことばをめぐって. 第10回京都国際セミナー. 京都府ゼミナールハウス (京都府京北町) .
- 川那部 浩哉 (1999年1月20日) 環境との共生. 土木学会関西支部新春講演会. 大阪厚生年金会館 (大阪府大阪市) .
- 川那部 浩哉 (1999年3月11日) 琵琶湖の魚が考える環境問題. 全国科学博物館協議会研究発表会. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

文部省創成的基礎研究「地域環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」: 研究者代表.
日本学術振興会重点研究国際協力事業プロジェクト「生物多様性と生態複合」: 研究分担者.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本生態学会: 会長.
応用生態工学研究会: 会長.
国際理論応用陸水学 (SIL): 日本代表. 同生物多様性委員会: 委員長.
国際古代湖生物学会 (SIAL): 会長.
生物多様性科学国際共同研究計画 (DIVERSITAS) 科学委員会: 委員.
生物多様性科学国際共同研究計画 (DIVERSITAS) 淡水生物多様性部会: 部会長.
生物多様性科学国際共同研究計画 (DIVERSITAS) 西太平洋・アジア地域国際ネットワーク (DIWPA): 委員長.
African Journal of Tropical Hydrobiology and Fisheries: International Committee of the Editorial Board.
Environmental Biology of Fishes: Advisory Editor.
Biological Science Tokyo: 編集委員.
International Journal of Ecology and Environmental Biology: Advisory Editor.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年4月18日 挨拶. 博物館入門セミナー. 琵琶湖博物館.

1998年4月30日 ベルニー＝ズボルフスキーさんと対談。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館だより) 企画。琵琶湖博物館。
1998年6月9日 平山 郁夫さんと対談。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館だより) 企画。琵琶湖博物館。
1998年12月22日 関 鍵さんと対談。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館だより) 企画。琵琶湖博物館。
1999年2月6日 来見 誠二さんと対談。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館だより) 企画。琵琶湖博物館。
1999年2月20日 松井 三四郎さん・三男さん (親子) と対談。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館だより) 企画。琵琶湖博物館。

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年5月12日 「生物多様性の環境問題」 環境問題研究会。現代医学研究所 (京都府京都市)。
1998年5月13日 「琵琶湖の畔に来て思う」 京都ロータリークラブ。京都ホテル (京都府京都市)。
1998年10月11日 「いま教育を問う」 新制高校発足50周年記念シンポジウム、討論会「高校生活から何を得たか、得られるか」。平安会館 (京都府京都市)。
1998年10月20日 「生態系の多様性」。市民のための環境公開講座 ([社] 日本環境教育フォーラム)。安田火災海上保険本社 (東京都新宿区)。
1999年1月15日 「琵琶湖博物館の『ずるさ』」 ホメオ京都 (電通)。琵琶湖博物館。
1999年2月11日 「琵琶湖の歴史と現状」。シンポジウム「びわ湖・人・未来」講演 (びわ湖自然環境ネットワーク)。鳩の浜荘 (滋賀県大津市)。
1999年2月28日 フォーラム「アユと川を考える」川那部浩哉さんを囲んで。龍神村村民センター (和歌山県龍神村)。
1999年3月6日 京都国際セミナー公開フォーラム「安定社会を楽しむ」。佛教大学烏丸センター (京都府京都市)。
[記念講演]

テレビ、ラジオへの出演

1998年5月31日 「ミュージック・ブリーズ」 FM滋賀。(収録: 1998年5月25日、FM滋賀E-1スタジオ)
1998年12月16日 「末次攝子の日曜サロララジオ」 毎日放送ラジオ。(収録: 1998年11月24日)

【企画調整事業】

1998年1月26日、2月2日 JICA研究プロジェクト討論及びR/D調印 (マラウイ大学/京大・滋賀県間)。マラウイ大学(ゾンバおよびリロンゲ、マラウイ)。
1998年7月15日 博物館協議等生物・文化多様性打ち合わせ。パリ自然史博物館 (パリ、フランス)。
1998年9月25日 琵琶湖博物館とフランス国立自然史博物館相互協力協定調印。フランス国立自然史博物館 (パリ、フランス)。
1998年12月14日～17日 博物館協議。モナコ海洋研究博物館 (モナコ、モナコ)。

館内人事、館外活動等に関すること

【海外渡航】

1998年1月25日～2月6日 マラウイ・ザンビアへ渡航。JICAマラウイ研究協力R/D調印式への出席および事後相談のため。
1998年3月3日～3月8日 スウェーデン (ストックホルム) へ渡航。OECDメガサイエンスフォーラムへの出席のため。
1998年3月15日～3月31日 アメリカ合州国・パナマ・メキシコへ渡航。生物多様性国際研究・博物館共同研究に関する打ち合わせ、および生物多様性国際研究集会条項会議・生物多様性国際研究集会に参加のため。
1998年7月12日～27日 フランス・ドイツ・イタリアへ渡航。博物館協議、生物・文化多様性に関する打ち合わせ、および国際生態学会議に参加のため。
1998年8月6日～16日 アイルランドへ渡航。博物館協議および国際陸水学会議へ参加のため。
1998年9月7日～27日 南アフリカ・フランスへ渡航。博物館協議 (パリ自然史博物館との調印式)、アフリカ魚類多様性国際会議および聖物と文化・多様性会議に参加のため。
1998年11月16日～22日 台湾へ渡航。太平洋学術会議中間会議への参加、および博物館協議、生物・文化多様性に関する打ち合わせのため。
1998年12月9日～21日 フランス・モナコ・ポルトガルへ渡航。博物館協議および生物多様性科学国際研究計画国際観測年会議に参加のため。
1998年12月26日～31日 中国へ渡航。未来開拓「アジア環境保全」海外調査のため。

【館外の活動】

岡崎国立共同研究機構: 評議員。
国立基礎生物学研究所: 評議員。
学術審議会地球環境部会委員会。
日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会: 委員。
文化財保護審議会専門部会: 委員。
京都府文化財保護審議会: 委員。

京都市文化財保護審議会: 委員.
世界自然保護基金 (WWF) 日本委員会: 常任理事.
日本自然保護財団: 理事.
国際生態学日本センター: 理事.
日本自然保護協会: 評議員.
日本学術振興会未来開拓学術研究推進事業「アジア地域の環境保全」推進委員会: 委員長.
科学技術財団戦略的基礎研究「地球変動のメカニズム」: 研究アドバイザー.
国際生物学賞委員会: 委員.
生態学琵琶湖賞運営委員会: 委員.
毎日出版文化賞委員会: 委員.
地球環境大賞顕彰制度委員会: 委員.
日本水大賞委員会: 委員.
日経アジア国際大賞選考委員会: 委員.
環境自治体賞選考委員会委員環日本海アカデミック=フォーラム: 顧問.
「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」総合委員会: 委員.
「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」自然的環境・環境部会: 部会長.

印刷物

【学術論文】

Nakajima, T., Tainaka, Y., Uchiyama, J. and Kido, Y. (1998) Pharyngeal tooth remains of the genus *Cyprinus*, including an extinct species, from the Akanoi Bay Ruins. *Copeia*, 1998: 1050-1053.

【専門分野の著作】

中島 経夫・中藤 教子 [編] (1998) 琵琶湖博物館開館記念シンポジウム「水がはぐくむ生命: 琵琶湖と魚と人間—東アジアの世界のなかで」報告書: 琵琶湖博物館研究調査報告(11). 94 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

中島 経夫 (1998) 琵琶湖のコイ科魚類の由来. 琵琶湖博物館研究調査報告, (11): 15-21.

中島 経夫 (1998) 淡水魚化石の宝庫. In: 日高 敏隆 [監修] 日本動物大百科 6. 魚類. p. 13. 平凡社, 東京.

中島 経夫 (1998) コイ科魚類相の変遷. 古琵琶湖とその生物: アーバンクボタ (クボタ, 大阪) (37): 32-45.

中島 経夫・濱口 浩之・木戸 裕子 (1999) 琵琶湖博物館魚類標本登録・管理マニュアル1998年度版. 魚類標本 2: 琵琶湖博物館資料目録, (2): 1-9.

濱口 浩之・木戸 裕子・福井 武洋・南次男・中島 経夫 (1999) 琵琶湖博物館魚類標本目録 (2). 魚類標本 2: 琵琶湖博物館資料目録, (2): 10-160.

【一般向けの著作】

中島 経夫 (1998) 研究所・博物館めぐり「琵琶湖博物館」. エコフロンティア (京都大学生態学研究センター), (1): 50-51.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

中島 経夫 (1998年7月12日) 化石から見た紀伊半島. 紀伊半島研究会・紀伊半島シンポジウム. 奈良女子大学記念館(奈良県奈良市).

中島 経夫 (1998年7月31日) コイ科魚類の咽頭歯の研究. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」: 研究代表者.

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」: 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「ユーラシアにおける淡水棲貝類の生物地理に関する研究」: 研究協力者.

琵琶湖博物館専門研究「コイ科魚類の咽頭歯に関する研究」.

日本学術振興会未来開拓学術推進事業「アジア地域の環境保全 地球環境情報収集の方法の確立」: 研究分担者.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

国際ワークショップ「生態系における自然・人間共存への視点」実行委員会: 委員.

エコフロンティア (京都大学生態学研究センター発行) 編集委員会: 委員.

【大学での講義・実習、学生の指導など】

1998年12月15日 「滋賀の自然史」 滋賀県立大学集中講義. 滋賀県立大学.

1999年1月18日 「総合ゼミナールE」 大阪府立大学講義. 大阪府立大学.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年5月9日, 13日 「湖と大地の歴史」 博物館入門セミナー (第6期) 「湖をめぐる自然と人間」. 琵琶湖博物館.

1999年2月6日, 13日 「咽頭歯から見た地球の歴史」 博物館講座. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年6月19日, 26日 「琵琶湖博物館の概要」 跡見学園女子大学博物館実習講義. 琵琶湖博物館.

1998年6月25日 「博物館の概要」 滋賀大学教育学部「教育学・教育文化基礎教育1」博物館実習講義. 琵琶湖博物館.

テレビ、ラジオへの出演

1998年8月8日 「歯のひろば」 [歯の進化]. KBS京都.

1998年1月11日 「テンミニBox」 [琵琶湖]. NHK教育テレビ.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館情報システム魚類標本データベース画面の変更.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖博物館魚類標本登録作業 (2,434件登録/累計15,352件).

研究用魚類標本の貸出38件.

【企画調整事業】

世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: their Cultural and Biological Diversity」編集委員.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館研究部長 (旧: 事業部情報センター科長、研究部長代理).

【館外の活動】

滋賀県立大学大学院開設準備委員会専門部会 特別専門委員 (1997年4月25日~1999年3月31日).

滋賀県立大学非常勤講師 (1997年12月1日~1999年3月31日).

大阪府立大学非常勤講師 (1998年10月1日~1999年3月31日).

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 楠岡 泰 (1998年6月19日) 琵琶湖の共生藻類を持つ繊毛虫の生態：ピノキオの鼻はなぜ長い？ 琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館。
- 楠岡 泰 (1998年9月21日) 琵琶湖の共生藻類をもつ繊毛虫の生態：餌条件で形態変化をおこす繊毛虫 *Paradileptus*。日本陸水学会第63回大会。信州大学 (長野県松本市)。
- Grygier, M. J., Ferrari, F. D. and Kusuoka, Y. (1998年11月7日) New records of Japanese clam shrimp (Branchiopoda: Spinicaudata and Laevicaudata), with a reevaluation of thoracopodal homonymy in *Caenestheriella gifuensis*。日本甲殻類学会第36回大会。九州大学 (福岡県福岡市)。

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸域の生態系と動態に関する研究」：研究分担者。
- 琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」：研究分担者。
- 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」：研究分担者。
- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖生態系の長期的変遷」：研究分担者。
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖における共生藻類をもつ繊毛虫の生態」。

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 陸水学雑誌 (日本陸水学会)：投稿論文の査読, 1件。

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年7月19日 「ミクロな生き物観察会」 ミュージウム観察会。琵琶湖博物館。
- 1998年7月 平成10年度びわ湖・ミュージウムスクールモデル事業：滋賀県立石部高等学校。
7月28日 プランクトン実習。琵琶湖博物館。
7月29日 魚の採集。琵琶湖博物館。
7月30日 湖上での船上実習。琵琶湖博物館および湖上。
- 1998年8月2日 「琵琶湖の魚は何を食べているか？」 ミュージウム観察会。琵琶湖博物館。
- 1998年8月8日, 9日, 22日, 23日 夏休み相談室。琵琶湖博物館。
- 1998年10月 「ヨシ帯を調べてみませんか」 平成10年度びわ湖・ミュージウムスクールモデル事業：大津市立真野中学校。(芦谷美奈子と共同)
10月19日 事前学習。大津市立真野中学校。
10月30日 体験学習。琵琶湖博物館。
- 1998年11月1日 「秋の里山観察会」 フィールド観察会。大津市仰木周辺。
- 1999年2月7日 「琵琶湖の水鳥観察会」 ミュージウム観察会。琵琶湖博物館周辺。

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年8月20日 「みずすまし親子ふれあい観察会」 滋賀県農政水産部耕地課。大津市真野川。
- 1998年10月8日, 9日, 13日, 27日 微小生物の観察。平成10年度滋賀県総合教育センター主催教職経験者研修。琵琶湖博物館。
- 1999年1月26日 Recent transitions of ecological conditions in Lake Biwa. JICA and ILEC Group training course in lake water quality management。琵琶湖博物館。

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

- 微小生物標本収集および整理。
- 微小生物映像撮影および整理。

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館常設展示C展示室「いきものコレクション: プラクトンコーナー」写真更新.

琵琶湖博物館ギャラリー展「ワクワクたんば探検」(1998年10月13日～11月15日/滋賀県農政水産部と共催): 「水の中は生き物がいっぱい」の製作.

他の博物館等の展示活動

滋賀環境ビジネスメッセ出展「環境って何だろう」(1998年10月21日～23日; 滋賀県長浜市長浜ドーム)の企画・運営(美濃部博、戸田孝と共同).

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館事業部交流センター科長(旧: 総務部企画調整課)

【館外の活動】

「琵琶湖の総合的な保全のための計画調査」自然的環境・景観部会: 委員(1998年4月～1999年3月; 環境庁・国土庁・厚生省・農林水産省・林野庁・建設省).

琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター「多自然型水路実験」研究部会: 検討委員(1998年9月～; (財)琵琶湖・淀川水系水質保全機構).

「平湖・柳平湖保全整備計画」: 策定幹事(1999年2月～; 滋賀県土木部河港課).

印刷物

【学術論文】

- Beamish, F. W. H., Noakes, D. L. G. and Rossiter, A. (1998) Feeding ecology of juvenile Lake Sturgeon, *Acipenser fulvescens*, in northern Ontario. *Canadian Field-Naturalist*, 112 (3): 459-468.
- Noakes, D. L. G., Beamish, F. W. H. and Rossiter, A. (1999) Conservation implications of behaviour and growth of the lake sturgeon, *Acipenser fulvescens*, in northern Ontario. *Environmental Biology of Fishes*, 55: 135-144.

【これまでの博物館業績集2号に記載されなかった印刷物】

- ロシター, アンドリュー (1997) 私の逸品: チョウザメ. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (4): 5.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- Kohara, M., Rossiter, A. and Yanagisawa, Y. 1998年4月4日 Morphometric differences among members of the Japanese *Rhinogobius* species complex. 四国魚類学会年会. 愛媛大学 (愛媛県松山市).
- Rossiter, A., 1998年4月10日 Ecology of fishes in Lake Tanganyika. 国立西海区水産研究所石垣支所魚類研究会. 国立西海区水産研究所石垣支所 (沖縄県石垣市).
- 1998年11月3日 琵琶湖博物館特別研究セミナー「Koen Martens (ベルギー王立自然科学研究所): Speciation in Ancient Lakes」の企画・準備および講演の司会.

【研究プロジェクト等への参加】

- 文部省科学研究費「珊瑚礁の魚類群集の構成と種のパターン」: 研究分担者.
- 文部省科学研究費「日本産ヨシノボリ類複数種群の生態と進化」: 研究分担者.
- 文部省科学研究費「Biodiversity of Fish Communities in Lake Tanganyika」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「魚類群集におけるモルフォスペースの概念」
- 琵琶湖博物館共同研究「Fish Community Structure in Lakes and Oceans」: 研究代表者.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: Biodiversity, Ecology and Evolution」: 投稿論文の査読, 47件.
- Environmental Biology of Fishes*, *Ichthyological Research*を含む国際学術研究誌の査読, 5件.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年6月14日 「生きた化石, チョウザメ」 博物館講座: 淡水魚入門講座 (講義編). 琵琶湖博物館.

【企画調整事業】

- 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.
- 海外研究機関との連携主担当.
- 国際交流についての主担当.
- 博物館概要説明及び館内案内:
- 1998年4月22日 政府関連留学生グループ, 琵琶湖博物館
 - 1998年6月17日 JICA研修グループ, 琵琶湖博物館
 - 1998年6月19日 ILEC関連グループ, 琵琶湖博物館
 - 1998年6月24日 大阪大学留学生, 琵琶湖博物館
 - 1998年7月1日 JICA中国人研修員グループ, 琵琶湖博物館
 - 1998年10月1日 JICA多国籍研修グループ, 琵琶湖博物館
 - 1998年10月29日 JICA多国籍研修グループ, 琵琶湖博物館
 - 1998年10月30日 University多国籍研修グループ, 琵琶湖博物館

世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: Biodiversity, Ecology and Evolution」編集主幹.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.

【海外渡航】

1998年12月1日～1999年2月19日 ザンビア国タンガニーカ湖へ出張. 文部省科学研究費「Biodiversity of Fish Communities in Lake Tanganyika」研究分担者として.

印刷物

【学術論文】

- 戸田 孝 (1998) 琵琶湖博物館の回転実験室一回転系力学の体験的理解を求めて一. 展示学 (日本展示学会誌), 26: 46-47.
- Toda, T. and Matsui, K. (1999) Biwako-Das: Public collaboration in meteorological observation with a computer communication network. In: Itakura, Y., Eades, J. S., D'Itri, F., Kawashima, M., Endoh, S. and Kitamura, H. [eds.] *Integrated Environmental Management: Development, Information, and Education in the Asian-Pacific Region*. pp. 253-260. Lewis Publishers, Boca Raton etc.

【一般向けの著作】

- 戸田 孝 (1998) 特集: 資料整備と情報システム. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (6): 4-5.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 戸田 孝 (1998年5月23日) 琵琶湖博物館の回転実験室一回転系力学の体験的理解を求めて一. 日本展示学会第17回研究大会. 琵琶湖博物館.
- 戸田 孝 (1998年6月19日) 教材としての回転実験室—インストラクターへのアンケートから考える—. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 戸田 孝 (1998年6月25日) 常設型リモートセンシングの構想—琵琶湖博物館の屋上から—. 陸水物理研究会1998年度 (第20回) 草津大会. 琵琶湖博物館.
- 戸田 孝 (1997年6月27日) 琵琶湖周辺の風観測ネットワークからみる風. 第1回琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館.
- 戸田 孝 (1998年7月30日) コリオリ力の体感実験—琵琶湖博物館における実践—. 日本教育学会第22回年会. 東京学芸大学 (東京都小金井市).
- 戸田 孝 (1999年3月4日) 博物館屋上から赤野井湾を観測する—序報. 琵琶湖問題に関する試験研究機関連絡会議主催研究会「赤野井湾における研究取り組みについて」. 琵琶湖博物館.
- 戸田 孝 (1999年3月9日) はじめに人のネットワークありき—住民参加型調査結果の発信に向けて. 博物館ホームページ推進研究フォーラム. 静岡県立美術館 (静岡県静岡市).

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館共同研究「沿岸域モニタリングのための常設型リモートセンシングの運営に関する基礎的研究」: 研究代表者.
- 琵琶湖博物館共同研究「住民参加による気象情報の収集と分析に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水流動の微細構造の研究手法の検討」.

【学会の役職・運営、論文の査読など】

- 日本陸水学会: 編集委員.
- 陸水物理研究会1998年度 (第20回) 草津大会: 実行委員長.
- 陸水学雑誌 (日本陸水学会): 投稿論文の査読, 2件.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年10月9日 琵琶湖博物館におけるコンピュータ応用. 工業技術連絡会議電子連合部会第13回コンピュータ応用分科会講演会. 近江八幡国民休暇村 (滋賀県近江八幡市).
- 1998年12月10日 ピワコダスからみた風. 平成10年度第3回地方気象台活性化関連講演会. 彦根地方気象台 (滋賀県彦根市)

1999年2月25日 ネットワークと住民参加—ホテルダス・ピワコダスなどの活動をとおして— ネットワークフォーラム
in 京都 (第12回全国文化・学習情報提供機関ネットワーク協議会全国大会) 第1分科会「博物館のネットワーク」
京都市生涯学習総合センター [京都アスニー] (京都府京都市)

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館情報システム: システム賃貸借期限満了機器の更新にあたっての内部ニーズのとりまとめ.

琵琶湖博物館情報システム: システムソフトウェア追加開発にあたっての内部ニーズのとりまとめ.

琵琶湖博物館情報システム: システムの運転管理 (濱尾 研児・橋本 博至と共同).

琵琶湖博物館情報システム: インターネットページの内容更新 (濱尾 研児・橋本 博至と共同).

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館常設展示C展示室: 気象に関する展示の更新維持管理の総括.

琵琶湖博物館常設展示室: LANシステムの配線変更および調整.

他の博物館等の展示活動

1998年10月21日～23日 滋賀環境ビジネスメッセ出展「環境って何だろう」(滋賀県長浜市長浜ドーム)の企画・運営
(美濃部 博・楠岡 泰と共同).

【企画調整事業】

1998年8月7日 「博物館の情報事業」 琵琶湖博物館平成10年度博物館実習. 琵琶湖博物館.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館主任学芸員 (旧: 学芸員).

印刷物

【学術論文】

Nakano, S., Kitano, S., Nakai, K. and Fausch, K. D. (1998) Competitive influences of exotic brook trout (*Salvelinus fontinalis*) on foraging microhabitat and behavior of sympatric bull trout (*S. confluentus*) in a Montana stream. In: Yuma, M., Nakamura, I. and Fausch, K. D. [eds.] *Fish Biology in Japan: An Anthology in Honor of Hiroya Kawanabe: Environmental Biology of Fishes, Special Volume*. pp. 345-355.

【専門分野の著作】

中井 克樹 (1998) ビワコミズシタダミ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp. 20-21. (社) 日本水産資源保護協会, 東京.

中井 克樹 (1998) カドヒラマキガイ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp. 26-27. (社) 日本水産資源保護協会, 東京.

中井 克樹・松田 征也・上西 実 (1998) 琵琶湖におけるカワヒバリガイの分布拡大. 貝類学雑誌 *Venus*, 57: 139-140. [要旨]

中井 克樹・布谷 知夫 (1999) 滋賀県における住民参加型陸産貝類調査の試み. 貝類学雑誌 *Venus*, 58: 46. [要旨]

Morino, H., Yamauchi, M., Kamaltynov, R. M., Nakai, K. and Mashiko, K. (1999) Amphipod association in the surf belt of Lake Baikal. In: Miyazaki, N. [ed.] *Biodiversity, Phylogeny and Environment in Lake Baikal*. pp. 45-60. Otsuchi Marine Research Center, Ocean Research Institute, University of Tokyo, Otsuchi.

Nakai, K., Narita, T. and Morino, H. (1999) Investigation of macrobenthos diversity in the littoral zone of Lake Baikal: Methodology and preliminary results. In: Miyazaki, N. [ed.] *Biodiversity, Phylogeny and Environment in Lake Baikal*. pp. 214. Otsuchi Marine Research Center, Ocean Research Institute, University of Tokyo, Otsuchi. [abstract]

Yamauchi, M., Morino, H. & Nakai, K. (1999) Amphipod association in surf-zones of Lake Baikal. In: Miyazaki, N. [ed.] *Biodiversity, Phylogeny and Environment in Lake Baikal*. pp. 219. Otsuchi Marine Research Center, Ocean Research Institute, University of Tokyo, Otsuchi. [abstract]

【一般向けの著作】

中井 克樹 (1998) タンガニーカ湖にカワズメの世界を訪ねて. 季刊生命誌 (生命誌研究館), (19): 18-20.

中井 克樹 (1998) 知っていましたかブラックバスのこと、釣りはマナーをまもって. 広報びわ (びわ町企画調整課), (282): 3. [インタビュー記事形式]

中井 克樹 (1998) 黄門さまの街へ～田んぼ高速通覧の記～. 田んぼ研究だより (琵琶湖博物館水田総合研究班), (5): 1.

中井 克樹 (1998) Q&A: びわ湖の外来生物について. オウミア: 琵琶湖研究所ニュース (滋賀県琵琶湖研究所), (62): 4.

中井 克樹 (1998) 古代湖・琵琶湖～固有種と外来種のはざままで～. 人環フォーラム (京都大学大学院人間・環境学研究所), (5): 16-19.

中井 克樹 (1999) 外来種に翻弄される琵琶湖の生態系. *Stec*ニュース (財) 大阪府下水道技術センター), (29): 4-5.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

中井 克樹 (1998年6月27日) 琵琶湖における外来魚の生態と現状. 第1回琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館.

中井 克樹 (1998年9月21日) 琵琶湖の魚類群集における最近の変化～水産統計にみる固有種の激減～. 日本陸水学会第63回大会・課題講演「陸水域における生物多様性」. 信州大学 (長野県松本市).

中井 克樹・松田 征也 (1998年11月1日) 外来二枚貝カワヒバリガイの概要とその利水施設への影響. 応用生態工学研究会第2回研究発表会. 発明会館 (東京都港区).

Nakai, K., Narita, T. and Morino, H. (1998年11月7日) Investigation of macrobenthos diversity in the littoral zone of Lake Baikal: Methodology and preliminary results. *BICER, BDP and DIWPA Joint International Symposium on Lake Baikal*. パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市). [ポスター発表]

Yamauchi, M., Morino, H. and Nakai, K. (1998年11月7日) Amphipod association in surf-zones of Lake Baikal. *BICER, BDP and DIWPA Joint International Symposium on Lake Baikal*. パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市). [ポスター発表]

- Nakai, K., Narita, T. and Morino, H. (1998年11月9日) Investigation of macrobenthos diversity in the littoral zone of Lake Baikal: Methodology and preliminary results. "Biodiversity, Phylogeny and Environment in Lake Baikal" A Post-Symposium Meeting of BICER, BDP and DIWPA Joint International Symposium on Lake Baikal. 箱根プリンスホテル・レイクサイドアネックス (神奈川県箱根町).
- Morino, H., Yamauchi, M., Nakai, K. and Narita, T. (1998年11月9日) Distribution of amphipods on littoral zones of Lake Baikal. A preliminary report. "Biodiversity, Phylogeny and Environment in Lake Baikal" A Post-Symposium Meeting of BICER, BDP and DIWPA Joint International Symposium on Lake Baikal. 箱根プリンスホテル・レイクサイドアネックス (神奈川県箱根町).
- Nakai, K. (1998年11月13日) A report from "Lake Ecosystem Working Group". COE国際シンポジウム/西太平洋アジア生物多様性ワークショップ「生物多様性のモニタリングの基準化をめざして」(DIWPA Workshop "Developing Standards for Global Monitoring on Biodiversity"). 京大会館 (京都府京都市).
- 中井 克樹 (1998年11月29日) 琵琶湖の魚介類の固有種と外来種—近年の変化とその問題点. 日本生態学会近畿地区会. 滋賀県立大学 (滋賀県彦根市).
- 森野 浩・中井 克樹・野崎 健太郎 (1998年12月5日) 野外班・湖沼グループ・バイカル湖チームの報告. 多様性新プロ全体会議. 京都大学生態学研究センター (滋賀県大津市).
- 中井 克樹 (1998年12月18日) 湖沼沿岸域における生物多様性研究～大型底生生物を対象とした国際生物多様性観測へむけて. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 中井 克樹・布谷 知夫 (1999年1月31日) 滋賀県における住民参加型陸産貝類調査の試み. 日本貝類学会創立70周年記念大会. 国立科学博物館分館 (東京都新宿区). [ポスター発表]
- 中井 克樹・亀田 佳代子 (1999年3月4日) 琵琶湖問題に関する試験研究機関連絡会議主催研究会「赤野井湾における研究取り組みについて」. 琵琶湖博物館. [運営・進行]
- 松田 征也・中井 克樹 (1999年3月23日) ユーラシア淡水貝類共同研究会. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市). [開会の挨拶/閉会の挨拶].
- 中井 克樹・森野 浩・成田 哲也・山内 視嗣 (1999年3月27日) バイカル湖沿岸域の大型底生動物群集を対象としたスキューバ潜水による調査方法の検討～国際生物多様性観測年 (IBOY) を視野に入れて. 日本生態学会第46回大会・自由集会「バイカル湖沿岸域における生物群集の様式と多様性の維持機構」. 信州大学理学部 (長野県松本市).
- 中井 克樹 (1999年3月28日) 湖沼沿岸域における大型底生生物を対象とした調査方法の検討～バイカル湖と琵琶湖の事例. 日本生態学会第46回大会. 信州大学理学部 (長野県松本市). [ポスター発表]

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸帯生態系の動態に関する研究」: 研究分担者 (1997年度～).
- 琵琶湖博物館総合研究「水生生態系と人間活動に関する研究」: 研究分担者 (1997～1998年度).
- 琵琶湖博物館共同研究「滋賀県における陸産貝類の分布に関する研究」: 研究代表者 (1997年度～).
- 琵琶湖博物館共同研究「ユーラシアにおける淡水棲貝類の生物地理に関する研究」: 研究分担者 (1997年度～).
- 琵琶湖博物館共同研究「カワウによる水域生態系から陸域生態系への物質移動とその影響」: 研究分担者 (1997年度～).
- 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」: 研究分担者 (1997年度～).
- 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖とその流域の魚類に関する研究」: 研究分担者 (1997年度～).
- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖における外来生物に関する研究」 (1992年度～).
- 文部省科学研究費創成的基礎研究 (新プロジェクト) 「地球環境攪乱下における生物多様性の保全及び生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」湖沼研究班 (バイカル湖): 研究協力者 (1997年度～2001年度).
- トヨタ財団「アフリカ・マラウイ湖周辺の人々の湖沼生活文化に根ざした生態系保全の方法開発に関する研究」: 研究分担者 (1996年度～1998年度).

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本生態学会近畿地区会自然保護専門委員会: 委員 (1998年～).
- 日本貝類学会: 評議員 (1999年1月～).
- 日本BICER協議会将来構想検討委員会: 幹事 (1996年～).
- BICER, BDP and DIWPA Joint International Symposium on Lake Baikal: Vice-Secretary of Local Organizing Committee (1997年～1998年11月).
- 日本陸水学会第64回彦根大会実行委員会: 委員 (1998年～1999年).
- 山口貝類同好会: 査読協力員 (1996年～).
- 世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: their Cultural and Biological Diversity」編集局: 局員 (1997年7月～1999年).
- 世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: their Cultural and Biological Diversity」: 投稿論文の査読.
- 日本魚類学会誌: 投稿論文の査読1件.

【大学での講義・実習、学生の指導など】

- 1998年後期 (リレー式) 滋賀医科大学生物学実習「動物生態学: 大津市上丸尾池における魚類の個体数推定」 (1年生対象・動物生態学担当).

1998年後期（リレー式） 滋賀医科大学生物学特論「古代湖としての琵琶湖とそこにすむ生き物たち」（1年生対象：陸水生物学）。

茨城大学大学院理学研究科卒業生（米倉 竜次）「琵琶湖におけるブルーギルの摂食生態に関する研究」への助言。

京都大学理学部4年生（西 浩孝）「滋賀県大津市坂本周辺のコガネマイマイの変異に関する研究」への助言。

滋賀県立大学環境課学部1年生（金尾 滋史）「滋賀県犬上川流域の生物相に関する研究」への助言。

国際協力事業団研修員（Watson MSOSA、マラウイ大学）受け入れ（1998年9月21日～10月31日）。

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年6月7日 「琵琶湖に侵入した魚たち」 博物館講座：淡水魚入門講座（講義編）。琵琶湖博物館。〔NHKラジオ、夏のラジオセミナー放送用に収録〕

1998年6月17日、20日 「湖と生物」 博物館入門セミナー（第6期）「湖をめぐる自然と人間」。琵琶湖博物館。

1998年8月8日、9日、22日、23日 夏休み相談室。琵琶湖博物館。

1998年8月23日 「琵琶湖の貝を調べてみよう」 フィールド観察会。烏丸半島（滋賀県草津市）および琵琶湖博物館。

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年4月25日 「生きもの総合調査部会説明—魚・貝類調査について」 滋賀県生きもの総合調査協力員説明会（滋賀県自然保護課）。滋賀県庁（滋賀県大津市）。

1998年5月9日 第1部：陸生貝類。滋賀県生きもの総合調査魚類・貝類研修会（滋賀県自然保護課）。琵琶湖博物館。

1998年5月10日 滋賀県生きもの総合調査魚類・貝類現地研修会（滋賀県自然保護課）。大日山観音堂および大戸川（滋賀県大津市）。

1999年2月1日 「琵琶湖に棲む生き物の変化について」 平成10年度環境啓発アドバイザー研修会（社団法人滋賀県環境保全協会）。大津市ふれあいプラザ（滋賀県大津市）。

1999年3月2日 「びわ湖の生物、今」 みずすましシンポジウム「農業と農村の新しい息吹」（大津志賀流域みずすまし推進協議会）。「道の駅」びわ湖大橋米プラザ（滋賀県大津市）。

1999年3月14日 調査の解説、調査への同行、種の同定、講評など。河川の水質と生物調査（豊稜の郷赤野井湾流域協議会）。豊稜の郷赤野井湾流域協議会事務所および守山市内河川（滋賀県守山市）。

1999年3月18日 「湖の環境と生き物たち」 平成10年度下水道技術職員（現場）研修会（（財）大阪府下水道技術センター）。琵琶湖博物館。

テレビ、ラジオへの出演

1998年7月28日 「夏のラジオセミナー：命をはぐくむ森や水—地球環境を見つめて—/第2回「琵琶湖に侵入した魚たち」。NHKラジオ第一放送（全国）（6月7日収録、10月27日「ラジオ深夜便」で再放送）。

1998年10月20日 「スーパー」チャンネル：怒りの導火線/琵琶湖で増殖したブルーギル」〔琵琶湖におけるブルーギルの現状に関するコメント〕。テレビ朝日系ネット（朝日放送では放送なし）（10月14日取材）。

1999年1月26日 「たけしの万物創世記/アフリカ—奇跡の源」〔タンガニーカ湖の成因、生物の特異性に関するコメント〕。テレビ朝日系全国ネット（12月14日取材、1月14日収録）。

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館情報システム：貝類標本データベースの画面設計。

文部省事業、滋賀県小学校教員を対象とした「身近な生きもの調査ディスクデータ」、陸生貝類担当および全体へのコメント。

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

日本産淡水貝類液浸標本の収集と整理（松田征也と共同）。

世界の淡水貝類標本類の体系的収集・購入（松田征也と共同）。

寄贈海産貝類標本の一時整理（データベースソフトへの仮登録）。

滋賀県産陸生貝類資料の収集・製作・整理。

琵琶湖産無脊椎動物参照標本の整備（マーク J. グライガーと共同、基準標本を含む）。

琵琶湖生物資源調査団が採取した標本の受入（京都大学生態学研究センターより提供）。

アフリカ、タンガニーカ湖産魚類標本の受入（中京大学・桑村哲生氏より提供）。

研究用淡水魚類標本の貸出、2件。

研究用海産貝類標本の特別観覧、1件。

ロシア、バイカル湖沿岸における昆虫類の採取。

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

常設展示：C展示室「生きものコレクション：両生類・爬虫類」の修理・改装。

他の博物館等の展示活動

イルクーツク大学生物科学研究所附属博物館施設（ロシア連邦イルクーツク州）：新規拡張展示へのアドバイス（1998年7月）。

豊橋市自然史博物館特別企画展（1998年10月3日～12月13日）「バイカル湖と摩周湖の神秘にせまる－地球環境の未来を求めて」：情報・写真資料提供および収蔵資料貸出対応。

ロシア科学アカデミーシベリア支部イルクーツク科学センター設立50周年記念およびロシア科学アカデミー設立275周年記念祭（1999年3月11日～12日）：写真展への写真資料提供。

【企画調整事業】

世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: their Cultural and Biological Diversity」編集部、編集委員。

琵琶湖博物館平成10年度博物館実習、主担当。

滋賀県試験研究機関連絡会議、幹事。

1998年8月3日～8日、10日 平成10年度博物館実習、琵琶湖博物館。

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館主任学芸員（旧：学芸技師）。

【海外渡航】

1998年7月8日～29日 ロシア連邦バイカル湖（イルクーツク大学生物学研究所ボリショイ＝コティ実験所）へ出張。文部省科学研究費創成的基礎研究（新プロジェクト）「地球環境攪乱下における生物多様性の保全と生命情報の維持管理に関する総合的基礎研究」〔代表者：川那部 浩哉〕湖沼研究班（バイカル湖）〔分担者：森野 浩〕の研究協力者として。

【館外の活動】

希少野生動植物保存推進員（1997年6月9日～2000年6月30日；環境庁自然保護局野生生物課）。

平成10年度自然環境保全基礎調査検討会：検討員（無脊椎動物分科会）（1996年度～；環境庁自然保護局野生生物課）。

滋賀県生きもの総合調査委員会：専門委員（魚類・貝類部会）（1997年度～；滋賀県琵琶湖環境部自然保護課）。

琵琶湖・淀川水質浄化共同実験センター「多自然型水路実験」研究部会：検討委員（1998年9月～；（財）琵琶湖・淀川水系水質保全機構）。

利根川ヤマトシジミ検討会：委員（1998年1月～；建設省関東地方建設局利根川下流工事事務所）。

河川水辺の国勢調査（底生動物調査）スクリーニンググループ：委員（1999年2月～；（財）リバーフロント整備センター）。

京都府レッドデータ調査選定・評価委員会 陸淡水産貝類・甲殻類専門委員会：委員〔陸生貝類担当〕（1999年3月～；京都府自然環境課）。

印刷物

【学術論文】

- Kawamura, K., Hosoya, M. and Matsuda, M. (1998) Transparent-scaled variant of the rosy bitterling, *Rhodeus ocellatus ocellatus* (Teleostei: Cyprinidae). *Zoological Science*, 15: 425-431.
- 藤本 正昭・前川 清人・松島 治・松田 征也 (1998) ヤリタナゴの臭球脳波記録の試み. 島根大学生物資源学部研究報告, (3): 1-4.

【専門分野の著作】

- 松田 征也 (1998) カゴメカワニナ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp. 8-9. (社) 日本水産資源保護協会, 東京.
- 松田 征也 (1998) カワネジガイ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp. 30-31. (社) 日本水産資源保護協会, 東京.
- 松田 征也 (1998) ヒタリマキモノアラガイ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp. 32-33. (社) 日本水産資源保護協会, 東京.
- 松田 征也 (1998) オバエボシガイ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp.44-45. (社) 日本水産資源保護協会, 東京.
- 中井 克樹・松田 征也・上西 実 (1998) 琵琶湖におけるカワヒバリガイの分布拡大. 貝類学雑誌 *Venus*, 57: 139-140. [要旨]

【一般向けの著作】

- 松田 征也 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (19) アユモドキ. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (210): 4.
- 松田 征也 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (25) イケチヨウガイ. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (217): 1.
- 松田 征也 (1998) 研究最前線: 淡水魚の繁殖. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (7): 6.
- 前畑 政善・秋山 廣光・松田 征也・桑村 邦彦・桑原 雅之・中藤 容子 [桑原 雅之・桑村 邦彦・中藤 容子, 編] (1998) 水族企画展「南の島のさかなたちー琉球列島の淡水魚ー」(リーフレット). 琵琶湖博物館, 8 pp.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 松田 征也・柴山 弘史 (1998年6月11日) ゼニタナゴの繁殖について. 第64回 (社) 日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会. 琵琶湖博物館.
- 関 慎太郎・松田 征也 (1998年6月11日) 滋賀県で採捕された移入水生生物について. 第64回 (社) 日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会. 琵琶湖博物館.
- 中井 克樹・松田 征也 (1998年11月1日) 外来二枚貝カワヒバリガイの概要とその利水施設への影響. 応用生態工学研究会第2回研究発表会. 発明会館 (東京都港区).
- 松田 征也 (1998年11月27日) 琵琶湖におけるカワヒバリガイ *Limnoperna fortunei* の分布. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 松田 征也・中井 克樹 (1999年3月23日) ユーラシア淡水貝類共同研究会. 琵琶湖博物館 (滋賀県草津市). [開会の挨拶/閉会の挨拶].

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」: 研究協力者.
- 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」貝類班: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」: 研究協力者.
- 琵琶湖博物館共同研究「ユーラシアにおける淡水棲貝類の生物地理に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「滋賀県における陸産貝類の分布に関する研究」: 研究協力者.
- 琵琶湖博物館専門研究「ビワコミズシタダミの生態学的研究」.

【大学での講義・実習、学生の指導など】

近畿大学卒業研究指導1名（佐藤 邦生）。

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年7月4日「希少淡水魚と博物館」 博物館入門セミナー（第6期）「湖をめぐる自然と人間」、琵琶湖博物館。
1998年7月19日「川のお魚探検」 フィールド観察会、滋賀県近江町宇賀野。
1998年8月4日 水族展示の案内、平成10年度博物館実習、琵琶湖博物館。
1998年7月28日 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業：大津市立真野中学校、琵琶湖博物館。
1998年8月23日「びわ湖の貝を調べてみよう」 フィールド観察会、烏丸半島（滋賀県草津市）および琵琶湖博物館。
1998年10月30日「琵琶湖の貝を調べてみませんか」 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業：大津市立真野中学校、大津市立真野中学校（滋賀県大津市）。
1999年3月7日「水族館探検隊」 博物館探検、琵琶湖博物館。

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年5月10日 滋賀県生きもの総合調査魚類・貝類現地研修会（滋賀県自然保護課）、大日山観音堂および大戸川（滋賀県大津市）。
1998年5月22日 産業社会と人間「琵琶湖の生態系の変化」、滋賀県立長浜北星高等学校（滋賀県長浜市）。
1998年6月4日 総合学習「豊かな個性と自己教育力を育む総合的カリキュラムの開発」に関する分科会「湖をもつ世界の国々の自然」、滋賀大学教育学部附属中学校（滋賀県大津市）。
1998年7月31日「琵琶湖の魚について」 淡海生涯カレッジ、仰木の里公民館（滋賀県大津市）。
1998年8月6日「びわ湖の貝を調べよう」 第22回自然調査ゼミナール（滋賀県中学校理科部会）、琵琶湖博物館。
1998年8月8日「琵琶湖の魚と貝について」 わんぱくプラザ草津、草津公民館（滋賀県草津市）。
1998年8月9日 生きもの総合調査（魚貝類部会）魚・貝類同定会（夏休み相談室）、滋賀県自然保護課、琵琶湖博物館。
1998年8月11日 平成10年度理科実験実習講習会b、彦根市教育研究会理科部会、琵琶湖博物館。
1998年8月20日「みずすまし親子ふれあい観察会」 滋賀県農政水産部耕地課、滋賀県大津市真野川。
1999年3月14日 調査の解説、調査への同行、種の同定、講評など、河川の水質と生物調査（豊稷の郷赤野井湾流域協議会）、豊稷の郷赤野井湾流域協議会事務所および守山市内河川（滋賀県守山市）。

テレビ、ラジオへの出演

1998年10月19日「NHKニュース：ニュースパーク関西」 [魚類の繁殖について取材] NHK総合テレビ（大津放送局）。
1999年3月25日「NHKニュース：関西展望」 [水族トピック展示取材]、NHK総合テレビ（大津放送局）。

【情報活動】

琵琶湖博物館の情報活動

琵琶湖博物館貝類標本登録作業、250件登録。

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備

国内淡水産貝類標本約2,000点収集。

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館1998年度（平成10年度）水族企画展「南の島の魚たち」：進行管理
琵琶湖博物館平成12年度企画展「琵琶湖・食と漁業」：基本設計作成
水族トピック展示「少なくなった魚たち」：企画・運営
水族常設展示「チョウザメ水槽」での交流：企画・運営
展示交流員と話そう（水族常設展示「トンネル水槽」）：企画・運営
水族常設展示「世界の湖沼の魚たち」：展示通路壁面色彩変更
水族常設展示「ふれあい体験室」：展示通路壁面色彩変更
「水族展示探検クイズ・今月の魚」：リーフレット企画・作成

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会：ワーキングチーム員。
第64回（社）日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会：開催運営。

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会ワーキングチーム員。

【館外の活動】

滋賀県生きもの総合調査委員会: 専門委員 (1998年8月11日～; 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課)。
びわこ河川再生事業 (守山工区) に関する地域協議会: 委員 (1999年3月17日; 草津土木事務所長)。
びわこ河川再生事業 (長浜工区) に関する地域協議会: 委員 (1998年度; 長浜土木事務所長)。
びわこ河川再生事業 (彦根工区) に関する地域協議会: 委員 (1999年度; 彦根土木事務所長)。

印刷物

【専門分野の著作】

芦谷 美奈子 (1998) 地蔵川の水生植物. In: 米原町教育委員会 [編] ハリヨ生態調査報告書. pp.18-22. 米原町教育委員会.

【一般向けの著作】

芦谷 美奈子 (1998) 古代湖・琵琶湖とその周辺. 展示学 (日本展示学会誌), 25: 28-29.

ズボルフスキー, ベルニー・川那部 浩哉・芦谷 美奈子 [鼎談, 翻訳: 芦谷 美奈子] (1998) 鼎談「こどもと博物館」. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (7): 2-3.

芦谷 美奈子 (1999) 研究最前線: 水草がたどった道を探る. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (9): 8.

生津 恵子・高橋 啓一・里口 保文・芦谷 美奈子・マーク J. グライガー (1999) 琵琶湖博物館第6回企画展示「絶滅と進化-動物化石が語る東アジア500万年-」図録. 64 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

芦谷 美奈子 (1999年3月4日) ミュージアム・ショップの商品開発. 名古屋港水族館ミュージアム・ショップ業者会. 琵琶湖博物館.

芦谷 美奈子 (1998年5月15日) 米原町ハリヨ調査 その2-地蔵川の水生植物分布. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸域の生態系と動態に関する研究」: 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「子ども博物館の展示と利用に関する研究」: 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」: 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」: 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「イバラモの雌雄比および雌雄分布とシュート成長に関する研究」.

笹川科学研究助成「博物館展示の「ハンズオン」化の手法の検討及び開発に関する研究」: 研究代表者.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年10月30日 体験学習「ヨシ帯を調べてみませんか」平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 琵琶湖博物館.

1999年1月27日, 30日 「博物館で学ぶ」博物館入門セミナー (第7期) 「湖をめぐる自然と人間」. 琵琶湖博物館.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備

水生植物レプリカ「ノタスキモ」製作委託事業: 監修.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

ディスカバリー・ルーム: 「にんぎょうげきじょう」人形製作監修.

ディスカバリー・ルーム: 「石の下の生きもの」「水の中の生きもの」生物レプリカ製作監修.

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム サブリーダー.

博物館うらおもてシリーズ第1号「(仮題)化石発見記」: 編集.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会ワーキングチームサブリーダー。

【海外渡航】

1998年10月1日～26日 アメリカ合衆国・イギリス・フランスへ出張。琵琶湖博物館共同研究「子ども博物館の展示と利用に関する研究」の一環として。

【館外の活動】

みずすまし構想推進委員会：委員（滋賀県農政水産部農村整備課）。

琵琶湖河川再生事業に関する地域協議会：委員（滋賀県彦根土木事務所）。

琵琶湖河川再生事業に関する地域協議会：委員（滋賀県長浜土木事務所）。

琵琶湖河川再生事業に関する地域協議会：委員（滋賀県草津土木事務所）。

印刷物

【専門分野の著作】

中藤 容子 (1998) 郷土館めぐり: 滋賀県立琵琶湖博物館. 地域社会, 38: 67-74.

【一般向け著作】

前畑 政善・秋山 廣光・松田 征也・桑村 邦彦・桑原 雅之・中藤 容子 [桑原 雅之・桑村 邦彦・中藤 容子, 編] (1998) 水族企画展「南の島のさかなたちー琉球列島の淡水魚ー」(リーフレット). 琵琶湖博物館, 8 pp.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

中藤 容子 (1998年8月21日) 琵琶湖博物館で所蔵する民俗資料から見えてくること. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系における伝統的資源利用とその変化」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年6月21日 「昔の草津を歩く観察会」 フィールド観察会. 草津駅周辺 (滋賀県草津市).

1998年8月20日 資料からみる琵琶湖と人々との関わり. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備

琵琶湖博物館民俗資料: 保存処理・登録作業.

藤田家文書: 収集・仮整理.

橋本鉄男先生蔵書: 調査.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館平成12年度企画展「(仮称) 琵琶湖・食と漁業」: 基本設計作成.

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.

平成10年度博物館実習: 民具のクリーニング.

平成10年度博物館実習: 図書資料の整理.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.

1998年10月25日～1999年4月30日 出産前後休暇、育児休暇.

印刷物

【専門分野の著作】

- 用田 政晴・牧野 久実 [編] (1999) よみがえる丸子船—琵琶湖最後の伝統的木造船復元展示記録—。琵琶湖博物館研究調査報告, (13).
- 牧野 久実 (1999) 船大工松井三四郎のライフヒストリー—昭和以後の木造船の消長について—。琵琶湖博物館研究調査報告, (13): 13-16.
- 牧野 久実 (1999) 丸子船の進水・航行と公開。琵琶湖博物館研究調査報告, (13): 61-79.
- 牧野 久実 (1999) 滋賀県統計資料にみる丸子船の隻数の変遷。琵琶湖博物館研究調査報告, (13): 87-90.

【一般向けの著作】

- 牧野 久実 (1998) 古代の子育てグッズ。月刊みるとす, (37): 31-34.
- 牧野 久実 (1998) ゲシアの葡萄。月刊みるとす, (40): 34-38.
- 牧野 久実 (1998) ところかわれば発掘道具もかわる。月刊みるとす, (41): 35-39.
- 牧野 久実 (1998) 愛しのペラ。月刊みるとす, (42): 33-36.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 牧野 久実 (1998年10月16日) なぜ丸子船は使われなくなったのか？ 琵琶湖博物館研究セミナー。琵琶湖博物館。

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖の世界史的評価」
文部省科学研究費重点領域研究「古代社会の人口復元」（研究代表者：伊藤 栄明・文部省統計数理研究所）：研究分担者。
- 文部省科学研究費助成研究「遺跡泥鰌に含まれる有機遺物の採集・分析法の開発」（研究代表者：松井 章・奈良国立文化財研究所）：研究分担者。
- 文部省科学研究費助成研究「キネレット湖の歴史文化に関する研究」（研究代表者：月本 昭男・立教大学）：研究分担者。

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年5月30日 「ヌジ人名資料からの系図の復元について」 人文科学における統計学の利用。国立民族学博物館（大阪府吹田市）。
- 1998年7月10日 「丸子船について」 京都府立東宇治高等学校セミナー。琵琶湖博物館

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備

- 民具登録作業, 5,000件登録。
- 琵琶湖木造船模型製作事業, 10点。

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

- 常設展示B展示室維持管理。
- 展示交流員研修。
- 平成11年度企画展示「湖の船」、基本設計・実施設計。

【企画調整事業】

世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: their Cultural and Biological Diversity」編集部: 編集委員.
世界古代湖会議論文集「古代湖の考古学」編集者.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館事業部展示科を兼務（旧：総務部企画調整課）.

【館外の活動】

国立民族学博物館 研究協力者.

印刷物

【専門分野の著作】

芳賀 裕樹 (1998) 地蔵川の水質. In: 米原町教育委員会 [編] ハリヨ生態調査報告書. pp. 27-31. 米原町教育委員会.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

芳賀 裕樹 (1998年5月15日) 米原町ハリヨ調査 その3—地蔵川の水質について. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の動態」: 研究代表者.
琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖生態系の長期変遷」: 研究分担者.
琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖に与える影響」: 研究分担者.
琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖湖水における溶存有機物、特に溶存アミノ酸の挙動について」.

【学会の役職・運営、論文の査読など】

日本陸水学会第64回彦根大会実行委員会 委員 (1998年～1999年)

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年7月19日 「ミクロな生き物観察会」 ミュージアム観察会. 琵琶湖博物館.
1998年8月2日 「琵琶湖の魚は何を食べているか?」 ミュージアム観察会. 琵琶湖博物館.

【情報活動】

琵琶湖博物館の情報活動

静止画データベース公開準備
個人情報保護ガイドライン案作成
公開/非公開の決定・データ入力 (13,900件)
静止画データベース (公開用) 画面設計
動画ライブラリーメニュー更新 (212件)
質問/回答データベース制作・データ入力 (820件)

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

写真資料の収集 (業務委託統括).
写真資料デジタル化 (データ整備2194件、業務委託締結、指示書作成).
デジタル化写真資料のデータベースへの登録 (データ整備3242件、業務委託締結、動作確認).
動画資料制作「今月のびわ湖」12本.
動画資料媒体変換 (業務委託締結、16件).

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会 ワーキングチーム員.

印刷物

【専門分野の著作】

亀田 佳代子・中西 幸司・加藤 晃樹・山崎 亨・一瀬 弘道・安藤 元一・西 浩司・植田 睦之・江口 淳一・石本 知江子・桜庭 由季子・私市 和子・陳 賜隆 [編] (1998) *Asian Raptor Research & Conservation: The First Symposium on Raptors of Asia - Program & Abstracts* / 東南アジア猛禽類シンポジウム: プログラム・要旨集. 126 pp. 東南アジア猛禽類シンポジウム実行委員会, 野洲.

【一般向けの著作】

清水 幸男・川那部 浩哉・亀田 佳代子 (1998) 館長訪問: 湖北の鳥と湖と. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (6): 2-3.
 亀田 佳代子 (1998) 琵琶湖博物館. In: 宝湖創造プロジェクト [編] 宝湖へ. JR東海企画, 東京. p. 9.
 亀田 佳代子 (1998) 「湖と人間」をテーマにフィールドへと誘う博物館 (巻頭エッセイ/近畿ミュージアム訪問). *LEWLETS (NITグループ (財) 電気通信共済会近畿支部, 大阪)*, (455): 1.
 亀田 佳代子 (1998) 博物館紹介: 滋賀県立琵琶湖博物館. *鳥学ニュース (日本鳥学会, 帯広)*, (70): 4-6.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

Kameda, K., Mizutani, H. and Koba, K. (1998年4月21日) Analysis of material flow from aquatic ecosystem to terrestrial ecosystem mediated by the Great Cormorant by using stable isotope techniques (Preliminary framework). *Applications of Stable Isotope Techniques to Ecological Studies*. Delta Bessborough (Saskatoon, Canada).
 亀田 佳代子 (1998年7月11日) カワウによる水域から陸域への物質移動. 日本鳥学会近畿地区懇談会第63回例会. 大阪市立大学 (大阪府大阪市).
 亀田 佳代子 (1998年7月15日) カワウによる水域生態系から陸域生態系への物質移動 (予備的考察). 安定同位体ゼミ. 京都大学生態学研究センター (滋賀県大津市).
 Kameda, K. (1998年7月21日) Material flow from aquatic ecosystem to terrestrial ecosystem mediated by the Great Cormorant (Preliminary discussion). *VII International Congress of Ecology*. Palazzo dei Congressi (Florence, Italy).
 亀田 佳代子 (1998年9月18日) 水域と陸域をむすぶカワウの役割 1. 安定同位体比分析を用いたカワウの食性解析. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
 亀田 佳代子・森 貴久・山岸 哲 (1998年11月21日) 安定同位体比分析を用いたカワウの食性解析. 1998年度日本鳥学会大会. 北九州大学 (福岡県北九州市).
 亀田 佳代子 (1998年11月21日) 琵琶湖におけるカワウの増加と被害の現状. 1998年度日本鳥学会大会自由集会「カワウを通して野生動物と人との共存の道を探る. その1」. 北九州大学 (福岡県北九州市).
 中井 克樹・亀田 佳代子 (1999年3月4日) 琵琶湖問題に関する試験研究機関連絡会議主催研究会「赤野井湾における研究取り組みについて」. 琵琶湖博物館. [運営・進行]

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「カワウによる水域生態系から陸域生態系への物質移動とその影響」: 研究代表者.
 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の動態」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間の生物群集と環境の変化のモニタリング」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館専門研究「水域と陸域を結ぶカワウの役割-安定同位体比を用いた食性解析と物質移動の解明」.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

VII International Congress of Ecology (第7回国際生態学会), Symposium 6.3. "Interactions between Freshwater Fisheries and Birds", Morning Session II: 座長.
 Strix (野外鳥類学雑誌): 投稿論文の査読1件.
 東南アジア猛禽類シンポジウム実行委員会: 委員 (講演要旨集編集責任者).

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1999年1月17日, 24日, 31日 「鳥類学入門: 琵琶湖周辺の鳥類 (全3回)」 博物館講座. 琵琶湖博物館.
1999年2月7日 「琵琶湖の水鳥かんさつ会」 ミュージウム観察会. 琵琶湖博物館周辺.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年6月30日 カワウと人の過去・現在・未来. 岐阜大学教育学部附属中学校博物館見学. 琵琶湖博物館.
1999年2月9日 琵琶湖周辺の鳥類とその見分け方. 滋賀県高等学校理科教育研究会生物部会動物研究部門研修会. 琵琶湖博物館.
1999年2月9日 フィールドワーク. 滋賀県高等学校理科教育研究会生物部会動物研究部門研修会. 琵琶湖博物館.
1999年2月9日 鳥類の生態. 滋賀県高等学校理科教育研究会生物部会動物研究部門研修会. 琵琶湖博物館.
1999年2月9日 琵琶湖博物館の鳥類研究—生態系におけるカワウの役割—. 滋賀県高等学校理科教育研究会生物部会動物研究部門研修会. 琵琶湖博物館.
1999年2月21日 近畿地方のカワウと有害鳥獣駆除. カワウ関東地区集会. 日本野鳥の会WING (東京都日野市).
1999年3月8日 琵琶湖の自然環境. 平成10年度近畿ブロック赤十字病院看護係長研修会. 第四ブロック研修センター(日赤滋賀りっとう山荘, 滋賀県栗東町).

テレビ、ラジオへの出演

1998年7月3日 「ふるさとほっとライン」 東京メトロポリタンテレビジョン.
1998年11月3日 「FM FESTIVAL'98」 FM滋賀.
1998年11月25日 「サンデー11しが」 びわ湖放送.
1998年12月9日 「滋賀県だより」 KBS滋賀.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖博物館鳥類本剥製標本作製委託, 13点作製.

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.
1998年8月3日~8日, 10日 平成10年度博物館実習 [副担当].

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館企画調整課員を兼務 (旧: 事業部交流センター員).
1998年4月16日 職務に専念する義務の免除 (平成10年4月19日, 22日, 23日). 滋賀県知事.
1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会ワーキングチーム員. 琵琶湖博物館長.
1998年7月15日 職務に専念する義務の免除 (平成10年7月18日, 22日~24日). 滋賀県知事.

【海外渡航】

1998年4月18日~23日 カナダ (サスカチュワン州サスカチューン) へ渡航. 国際学会「安定同位体技術の生態学的研究への応用」での発表のため.
1998年7月18日~26日 イタリア (フィレンツェ) へ渡航. 第7回国際生態学会での発表のため.
1999年3月21日~3月28日 インドネシアへ渡航. 国際協力事業団インドネシア・生物多様性保全計画短期派遣専門家として.

【館外の活動】

京都大学生態学研究センター協力研究員 (1997年4月1日~).
滋賀県生きもの総合調査委員会鳥類部会: 委員 (1997年4月1日~; 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課).
京都放送番組審議会: 委員 (1998年6月26日~; 京都放送).
滋賀県生きもの総合調査調整会議: 保全対策検討連絡員 (1998年8月12日~; 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課).

印刷物

【専門分野の著作】

野洲川朝国河床足跡化石調査団 (1998) 甲西町朝国の野洲川河床足跡化石調査報告. 甲西町教育委員会. 57 pp.

【一般向けの著作】

水上二己夫・布谷知夫・嘉田由紀子・前畑政善・高橋啓一・秋山廣光・里口保文・西村佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

水上二己夫・布谷知夫・高橋啓一・里口保文・秋山廣光・前畑政善・渡邊裕也 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (7), (8). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

里口保文 (1998) 虫生野火山灰. *Duet* (サンライズ印刷, 彦根), (61): 9.

水上二己夫・布谷知夫・高橋啓一・里口保文・秋山廣光・前畑政善・渡邊裕也 [企画・編集] (1999) うみんど [湖人] (9). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

琵琶湖博物館 [里口保文, 編] (1999) 魚類標本2. 琵琶湖博物館資料目録 (2). 琵琶湖博物館, 草津. 159 pp.

生津恵子・高橋啓一・里口保文・芦谷美奈子・マーク J. グライガー (1999) 琵琶湖博物館第6回企画展示「絶滅と進化—動物化石が語る東アジア500万年—」図録. 琵琶湖博物館, 草津. 64 pp.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

里口保文・長橋良隆・黒川勝己・吉川周作 (1998年8月1日) 鮮新—更新統のテフラ層序. 地学団体研究会第52回総会 (山陰). 島根大学 (島根県松江市).

里口保文 (1998年9月18日) 鮮新—更新統上総層群中に挟在するKd38火山灰層の岩相変化とその堆積環境. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

里口保文・渡辺真人 (1998年9月25日) 鮮新—更新統上総層群下部に挟在する火砕鍵層Kd38の側方岩相変化. 日本地質学会第105年学術大会. 信州大学 (長野県松本市).

黒川明・里口保文 (1998年9月25日) 滋賀県甲賀郡甲西町野洲川河床の古琵琶湖層群の層序と年代. 日本地質学会第105年学術大会. 信州大学 (長野県松本市).

中条武司・里口保文・片岡香子 (1998年9月25日) 古琵琶湖層群甲賀累層における湖成デルタの発達過程. 日本地質学会第105年学術大会. 信州大学 (長野県松本市).

黒川勝己・青木豊樹・富田裕子・長橋良隆・里口保文・大橋理香 (1998年9月25日) 魚沼層群のSK110火山灰層と上総層群のKd25火山灰層の広域対比. 日本地質学会第105年学術大会. 信州大学 (長野県松本市).

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「古琵琶湖層群下部の堆積環境と堆積過程—淡水成デルタが形成する地層—」: 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去1万年間の自然環境と人間活動の変遷」: 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「古琵琶湖層群とその同時代の堆積層に挟在する火山灰層の対比」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年10月4日 「滋賀県の地学散歩」 フィールド観察会. 滋賀県石部町周辺.

1998年7月30日 地層と断層について. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.

1998年8月21日 琵琶湖の生い立ちについて. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.

他の博物館・組織・団体等の主催行事

1998年10月13日 環境問題の現状と課題—博物館の展示内容と関わって— (古琵琶湖層群中の火山灰). 平成10年度滋賀県教職経験者研修I (滋賀県教育センター). 琵琶湖博物館.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館情報システム：琵琶湖博物館地学資料（化石、岩石・鉱物、堆積物、プレパラート）データベースの画面設計。

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備

「地学資料整理マニュアルver. 3」作成。
琵琶湖博物館地学資料登録, 12,014件。

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館企画展示「絶滅と進化—動物化石が語る東アジア500万年—」：副担当者。
琵琶湖博物館常設展示 A展示室自然史研究室「地層の研究」コーナー：企画・制作。

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会：ワーキングチーム員。

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会ワーキングチーム員、滋賀県立琵琶湖博物館館長。

印刷物

【学術論文】

嘉田 由紀子 (1998) 所有論からみた環境保全—資源および途上国開発問題への現代的意味—。環境社会学研究, (4): 104-123.

【専門分野の著作】

- 遊磨 正秀・嘉田 由紀子・藤岡 康弘 (1998) 水辺の遊びにみる淡水生物相と遊び文化の変化。遺伝, 52 (7): 37-41.
- 遊磨 正秀・嘉田 由紀子 (1998) 自然と人との共生を考える自然文化環境の評価への試み。In: 「環境アセスメントここが変わる」編集委員会 [編] 環境アセスメントここが変わる。pp. 97-121. 環境技術研究協会, 大阪.
- 遊磨 正秀・嘉田 由紀子・中山 節子・橋本文華・藤岡 和佳・村上 宣雄・桐畑 長雄・桐畑 正弘・桐畑 貢・桐畑 みか乃・桐畑 静香・桐畑 博夫 (1998) 身近な水辺環境における「人—水辺—生物」間の相互作用—滋賀県余呉湖周辺の実例から—。環境技術, 27(4): 289-295.
- 嘉田 由紀子・小笠原 俊明 [編] (1998) 琵琶湖・淀川水系における水利用の歴史の変遷: 琵琶湖博物館調査研究報告書 (6). 68 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 嘉田 由紀子 (1998) 近畿圏の生活水利用の変化と琵琶湖—その100年の歴史から—。淀川水系における水利用の歴史の変遷 (琵琶湖博物館調査研究報告書 (6)): pp. 11-18.
- 嘉田 由紀子 (1998) 地域特性を自覚化するプロセスとしての調査研究—琵琶湖研究の経験から—。平成9年度地域科学技術政策研究会報告書, 27-53.
- 嘉田 由紀子 (1998) 地域遺産活用事例調査—具体的事例 7: 滋賀県立琵琶湖博物館—活動先行型の博物館づくり—。In: 文部省生涯学習局委嘱生涯学習活動の促進に関する研究開発—記念物を素材とした生涯学習プログラムの研究開発。pp. 110-121. 財団法人環境文化研究所, 東京.
- 嘉田 由紀子 (1998) 琵琶湖からのメッセージ。平成10年度地域科学技術政策研修会報告書, 5-38.
- 遊磨 正秀・田中 敏博・嘉田 由紀子 (1998) 9年目のホタルダスから10年目へ。私たちのホタル(水と文化研究会), (9): 4-17.
- 嘉田 由紀子 (1998) 「川に学ぶ」社会をめざして。平成10年度河川審議会報告, 1-8.
- 小坂 育子・荒井 紀子・田中 敏博・嘉田 由紀子・遊磨 正秀 [編] (1999) 私たちのホタル—身近な水環境調査— 第10号・記念号.. 528 pp. 水と文化研究会, 大津
- 嘉田 由紀子 (1999) 身近な環境の自分化: 科学知と生活知の対話をめざしたホタルダス。私たちのホタル—身近な水環境調査— (水と文化研究会), (10): 345-370.
- 田中 敏博・小坂 育子・荒井 紀子・岡田 玲子・遊磨 正秀・嘉田 由紀子・井上 誠・大西 行雄 (1999) 10年目のホタルダス、そして10年間の移り変わり。私たちのホタル—身近な水環境調査— (水と文化研究会), (10): 7-61.

【一般向けの著作】

- 水上 二己夫・布谷 知夫・嘉田 由紀子・前畑 政善・高橋 啓一・秋山 廣光・里口 保文・西村 佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 嘉田 由紀子 (1998) 自然との共存をめざして今、私たちにできること。In: 滋賀県トラック協会50周年記念事業記念史 編集委員会 [編] 滋賀県トラック協会創立50周年記念史「未来へのびる道」, 58-61.
- 嘉田 由紀子 (1998) 人にやさしい街づくり—我々が語る琵琶湖の変遷—。びわ湖 ((社) 滋賀県建築士事務所協会), 35: 4-9.
- 嘉田 由紀子 (1998) 地域から地球環境を考える拠点としての博物館—第三世代の博物館の新たな展開をめざして—。ミュージアムデータ (丹青研究所), (41): 1-10.
- 嘉田 由紀子 (1998) Tatsuo Kobayashi's "I want to talk with this person" with Yukiko Kada. ミュゼ (Musee Co. Ltd., 東京), 2: 4-7.
- 平山 郁夫・川那部 浩哉 [嘉田 由紀子, 進行] (1998) 真・善・美は一体。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (8): 2-3.
- 嘉田 由紀子・水上 二己夫 (1998) お茶わん一杯のご飯から田んぼをみると—ワクワクたんぼ探検展示のご案内。うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (8): 4-5.
- 嘉田 由紀子 (1998) 琵琶湖に暮らす—前野写真館—。In: びわこブック。pp. 75-90. 山と溪谷社, 東京.
- 嘉田 由紀子 (1998) 地域を「見る」社会的工夫の必要性。新近畿INFORMATION TODAY, (93): 5.
- 嘉田 由紀子 (1998) 「住民」と「市民」—NPO法案成立の今、思う—。NEWSLETTER・自治体学会 (Japan Association of Local Government Policy Studies, 大宮), (70): 1.

- Kada, Y. (1998) Asian Forum on Biological and Cultural Diversity -Proceedings-. *World Commission on Protected Areas-Japan*, 1997: 17-21.
- 嘉田 由紀子 (1998) 水域環境の利用と所有—アジアとアフリカの比較研究—. *農業総合研究所季報*, (38): 156.
- 嘉田 由紀子 (1998) ふたつの湖国の子もたち. *ART's* (株)しがぎん経済文化センター, 大津), (185): 1.
- 嘉田 由紀子 (インタビュー) (1998) 「琵琶湖博物館」嘉田由紀子先生. *TECHNICAL EYE* (株)積水化学工業水無瀬研究所, 大阪), 8: 4-7.
- 嘉田 由紀子 (1998) 自分を磨く「お蚕さまと母」. *知恩* (浄土宗総本山知恩院, 京都), 10: 38-39.
- 嘉田 由紀子 (1998) 「ついでさま」と「その気さま」(現代のことば). *京都新聞*, 1998/6/22夕刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) 琵琶湖博物館からのメッセージ【湖と人間のかかわりを求めて】. *八日市青年会議所PRESS*, 190. 1998/8/23朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) 蛇口のむこう. *神戸新聞*, 1998/9/16朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) パリのおのぼりさん. *神戸新聞*, 1998/10/2朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) 沖島の事情. *神戸新聞*, 1998/10/19朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) 「探偵ナイトスクープ」と社会学調査. *神戸新聞*, 1998/11/4朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) 「水質」だけをとりあげる認識の暴力. *神戸新聞*, 1998/11/19朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) ホタルの「自分化」. *神戸新聞*, 1998/12/8朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) もやい直し. *神戸新聞*, 1998/12/24朝刊.
- 嘉田 由紀子 (1998) 日本の地域社会と川—水辺の遊びを切り口に—. *河川*, (624): 20-25.
- 嘉田 由紀子 (1998) 「一人称で語る」もやい直しの場を—琵琶湖博物館の経験から—. *ごんずい* (水俣病センター相思社, 水俣), 51: 9-14.
- 嘉田 由紀子 (1998) 水域環境の利用と所有—アジアとアフリカの比較研究—. *農林省農業総合研究所刊行物*, 571: 156.
- 嘉田 由紀子 (1999) 「湖国」の人の、水との深いかかわりに魅かれて. *AERA Mook*, (46): 22-25.
- 嘉田 由紀子 (1999) バブル経済の源は120年前の地租改正. *しがの換地* (滋賀県換地センター), (30): 1-2.

【これまでの業績集に掲載されなかった1998年3月以前の印刷物】

- 嘉田 由紀子 (1998) ルーズソックスと破れジーンズ (現代のことば). *京都新聞*, 1998/2/27.
- 嘉田 由紀子 (1998) 50年ぶりの乱舞 (湖国随想). *中日新聞*, 1998/2/27.
- 嘉田 由紀子 (1998) 開館一年をふりかえって—来館者アンケート調査を中心に—. *うみんど* [湖人] (琵琶湖博物館), (5): 4-5.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 嘉田 由紀子 (1998年5月24日) 地域環境を「見る」社会的装置としての博物館. 第17回展示学会研究大会報告, 草津市.
- Kada, Y. and Hashimoto, H. (1998年9月24日) Social and cultural meanings of sacred closed grounds for lake fishery: Comparison between Ishiyamadera Temple and Chikubushima Island at Lake Biwa, Japan. *International Symposium on 'Natural' Sacred Sites-Cultural Diversity and Biological Diversity*. UNESCO, Paris.
- 嘉田 由紀子 (1998年11月27日) 社会的所有論からみる環境保全. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 嘉田 由紀子 (1999年3月) 安定社会の総合研究 (パネリスト). *京都国際セミナー10周年記念フォーラム*. 京都ゼミナールハウス (京都府京北町).
- 嘉田 由紀子 (1999年3月) 開発途上国に適した湖沼環境保全技術に関するワークショップ (コメント). *ILEC* (国際湖沼環境委員会). 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「水生生態系と人間活動に関する総合研究」: 研究代表者.
- 琵琶湖博物館共同研究「生活と科学の接点としての環境調査の手法開発に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「湖沼文化をめぐる比較文化論的研究」.
- トヨタ財団「アフリカ・マラウイ湖周辺の人びとの湖沼にかかわる生活文化に根ざした生態系保全の方法開発に関する研究—琵琶湖地域との比較の視点を含めて—」: 研究代表者.
- 日本財団研究助成金「住民参加による水環境調査結果のデータベース化と博物館展示への展開に関する方法論的研究」: 研究代表者.
- 住友財団研究助成「富栄養化100年の環境史: アメリカ・メンドータ湖と琵琶湖の比較」: 研究代表者.
- カーネギー財団「環境政策における価値観: 日米中印4ヶ国比較」: 日本チーム代表.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本村落研究学会 理事
日本エコミュージアム研究会 理事
日本社会学会誌 投稿論文の査読 1 件

【大学での講義・実習、学生の指導など】

1998年（集中講義） 京都大学大学院人間環境学研究科非常勤講師（地域文化環境論）
1998年（集中講義） 滋賀県立大学人間文化学部非常勤講師（地域生活論）
1999年 放送大学テレビ授業ゲスト出演（環境社会学）
1999年 放送大学テレビ授業ゲスト出演（博物館学）

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年6月6日 「ホテルのお宿」 フィールド観察会. 滋賀県近江町長岡.
1998年 ミュージアムスクール出前授業.
1998年10月28日, 30日 「暮らしと博物館」 博物館入門セミナー（第7期）「湖をめぐる自然と人間」. 琵琶湖博物館.
1998年 交流用冊子 「身近な水を調べてみよう」 編集・出版.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年5月19日 水と緑を生かしたまちづくり. 第4次守山市総合発展計画策定懇話会. 琵琶湖博物館.
1998年5月23日 地球環境を「見る」社会的装置としての博物館. 日本展示学会「住民参加の博物館」. 琵琶湖博物館.
1998年6月14日 琵琶湖の近代化とその関わり. 21世紀の常盤を考える会. 常盤公民館（滋賀県草津市）.
1998年9月4日 自然遊びの中の子育て. 21世紀の常盤を考える会. 志那会館（滋賀県草津市）.
1998年10月7日 琵琶湖からのメッセージ. 平成10年度地域科学技術政策研修会. 草津健康福祉センター（滋賀県草津市）.
1998年10月29日 環境学習の交流拠点としての博物館. 滋賀県小学校長会総合研修会. 滋賀県総合教育センター（滋賀県野洲町）.
1998年11月28日 自然との共生と子育てについて. 「人に優しい町づくり講座」（志那町自治会・常盤公民館・志那町青少年育成会）. 常盤公民館（滋賀県草津市）.
1998年12月11日 琵琶湖博物館の活動. 平成10年度JICA個別一般研修. 琵琶湖博物館.
1999年3月25日 博物館ができるまで: 地域と博物館. 大野市教育委員会視察. 琵琶湖博物館.

テレビ、ラジオへの出演

1998年5月 「おはよう川村龍一です MBSゴールデンエイジ」 「地球環境を「見る」社会的装置としての博物館」 毎日放送ラジオ.
1998年10月 「探偵! ナイトスクープ」 「謎の近江の蒸し風呂」 朝日放送.
1998年11月 「NHKおはよう関西」 「写真で探る琵琶湖の暮らし」 NHK大津.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

写真で見る昭和史: キャプション修正編集.
水環境カルテ: 修正編集.
琵琶湖博物館情報システム: ホームページ「ホテルダスの10年」企画.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

ギャラリー展示「ワクワク田んぼ体験」（滋賀県農林水産部主催・琵琶湖博物館協力）: 企画協力.

他の博物館等の展示活動

大津市歴史博物館「写真家前野隆資の世界～その近江へのまなざし」(1999年3月16日～3月28日; 実行委員会事務局長).

【企画調整事業】

世界古代湖会議成果英文論文集「Ancient Lakes: their Cultural and Biological Diversity」編集部: 主査.
第1回琵琶湖博物館研究発表会: 企画・運営・要旨集編集.
うみんど館長対談-平山郁夫: 企画・実施.
うみんど館長対談-アン・マクドナルド: 企画・実施.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1999年4月1日 琵琶湖博物館総務部研究総括を兼務（旧：総務部企画調整課長）。

【海外渡航】

1998年9月22日～27日 フランス、パリへ出張渡航。ユネスコ会議「聖なる場－生物と文化の多様性会議」での発表。

【館外の活動】

環境庁自然環境保全審議会：委員。

国土庁国土審議会近畿圏整備特別委員会：委員。

建設省河川審議会環境教育小委員会：委員。

京滋奈三広域交流圏検討委員会：委員。

滋賀県立大学研究交流財団：評議員。

奈良国立文化財研究所町並研究指導委員会：委員。

青森県総合運動公園遺跡ゾーン公開活用専門委員会（三内丸山遺跡）。

草津市総合計画審議会：委員。

彦根市史編纂民俗専門部会：委員。

N T Tお客さま懇話会：委員。

印刷物

【学術論文】

Konishi, S. and Takahashi, K. (1999) Mandibular morphology of stegodons from Japan, *Stegodon aurorae* and *Stegodon shinshuensis* (Proboscidea, Mammalia). *Earth Science*, 53: 3-18.

【専門分野の著作】

- 岡村 喜明・高橋 啓一 (1998) 下坂中町遺跡からの足跡化石について. 長浜市埋蔵文化財調査資料集, 23: 39-42.
 高橋 啓一・岡村 喜明 (1998) 1. 調査のねらいと経過. 甲西町朝国の野洲川河床足跡化石調査報告. pp. 1-4.
 高橋 啓一 (1998) 脊椎動物化石とその起源 (特集古琵琶湖とその生物). アーバンクボタ (株) クボタ, 大阪) 37: 46-57.
 岡村 喜明・高橋 啓一 (1999) III 足跡化石. In: 石川県門前町足跡化石調査団 [編] 石川県門前町の足跡化石. pp. 23-56.
 高橋 啓一 [監訳] (1998) 中国古動物. 中国海洋出版社, 北京. 197 pp.
 高橋 啓一 (1998) 地域に根ざして世界を見つめる研究をめざして. 地学雑誌, 107: 830-835.
 齊藤 靖二・小出 良幸・高橋 啓一 (1998) 仮想「日本自然史博物館」. 地学雑誌, 107: 889-897.
 高橋 啓一 (1998) 書評: 恐竜復元. 地球科学, 52: 167.
 高橋 啓一 (1998) 書評: 「新」文明のなかの未開. 第四紀研究, 37: 268-269.

【一般向けの著作】

- 水上 二己夫・布谷 知夫・嘉田 由紀子・前畑 政善・高橋 啓一・秋山 廣光・里口 保文・西村 佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (7), (8). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
 高橋 啓一 [分担] (1998) 総合案内: 滋賀県立琵琶湖博物館. 琵琶湖博物館, pp. 8-23.
 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1999) うみんど [湖人] (9). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
 高橋 啓一 (1999) 特集: 第6回企画展示—絶滅と進化、動物化石が語る東アジア500万年. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (9): 4-5.
 生津 恵子・高橋 啓一・里口 保文・芦谷 美奈子・マーク J. グライガー (1999) 琵琶湖博物館第6回企画展示「絶滅と進化—動物化石語る東アジア500万年」図録. 64 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

【これまでの業績集に掲載されなかった1998年3月以前の印刷物】

高橋 啓一 (1998) 50万年前にびわ湖にツルの足跡. 滋賀民報, 1998/2/22.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 高橋 啓一 (1998年6月19日) 日本のマンモス類化石とその研究課題. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
 高橋 啓一・生津 恵子 (1998年9月25日) 日本産マンモスゾウ類とその課題. 日本地質学会第105年学術大会. 信州大学 (長野県松本市).
 小西 省吾・高橋 啓一 (1998年9月25日) アケボノゾウの体幹・体肢骨の特徴. 日本地質学会第105年学術大会. 信州大学 (長野県松本市).

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館共同研究「大分県安心院町での長鼻類化石の発掘と解析」: 研究代表者.
 琵琶湖博物館専門研究「シンシュウゾウの形態的解析」.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 化石研究会: 評議委員.
 地学団体研究会: 全国運営委員.

全国科学博物館協議会ニュース編集委員会: 委員.
地球科学: 投稿論文の査読, 2件.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1999年1月15日～4月11日 琵琶湖博物館企画展「絶滅と進化, 動物化石が語る東アジア500万年」: 展示解説ボランティアの養成.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年3月14日 琵琶湖博物館の建設経過について. 山形県立博物館第3回新設博物館勉強会. 山形県立博物館 (山形県山形市).

1999年3月7日 古琵琶湖層の脊椎動物化石の変遷と起源. 地学団体研究会千葉支部総会. 千葉県教育会館 (千葉県千葉市).

テレビ、ラジオへの出演

1999年1月18日 「ぶるるるぶびわこ」 [企画展示の紹介] びわ湖放送.

1999年2月5日 [企画展示の紹介]. FM三重.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

中国産脊椎動物化石の購入.

他の博物館等の資料整備活動

多賀町立博物館「アケボノゾウ産状復元模型」: 製作監修.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館企画展「絶滅と進化, 動物化石が語る東アジア500万年」: 企画.

他の博物館等の展示活動

林業展示館展示更新に伴う業者選定および打ち合わせ.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館専門学芸員 (旧: 主任学芸員).

1998年4月1日 琵琶湖博物館事業部展示科長を兼務 (旧: 展示科長心得).

【海外渡航】

1998年10月16日～10月30日 中国出張 (北京・河北省・内モンゴル自治区). 企画展示の資料運搬のための事前調査および資料調査.

【館外の活動】

甲西町博物館審議会: 委員 (1998年4月1日～2000年3月31日; 甲西町).

大津市科学館運営協議会: 委員 (1998年4月1日～1999年3月31日; 大津市教育委員会).

NHK滋賀県視聴者会議: 委員 (1998年4月1日～1999年3月31日; 日本放送協会大津放送局).

印刷物

【専門分野の著書】

草加 伸吾・濱端 悦治（1999）朽木実験小流域における皆伐の初期影響－土壌に関する解析データ－. 滋賀県琵琶湖研究所所報, 16: 19-27.

【一般向けの著書】

草加 伸吾（1998）私の逸品: 元気に育て. うみんど [湖人]（琵琶湖博物館）, (8): 5.

【これまでの琵琶湖博物館業績集に掲載されなかった1998年3月までの印刷物】

草加 伸吾（1996）くらしのまわりの自然「水をはぐくむ森林」. In: 琵琶湖博物館 [編] 展示ガイド. pp. 64-67. 琵琶湖博物館, 草津.

草加 伸吾（1996）水をはぐくむ森林. In: 琵琶湖博物館 [編] 琵琶湖博物館利用の手引き. pp. 52-53. 琵琶湖博物館, 草津.

草加 伸吾（1996）屋外展示. In: 琵琶湖博物館 [編] 琵琶湖博物館利用の手引き. pp. 93-94. 琵琶湖博物館, 草津.

草加 伸吾（1997）屋外展示のできるまで. In: 高橋啓一（編）琵琶湖博物館開館までのあゆみ. pp. 149-151. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

草加 伸吾（1998年7月31日）山地小流域からの硝酸態窒素の流出に及ぼす皆伐の初期影響. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間における特定生物群集の初期の変遷」: 研究代表者（1997年度～）.

琵琶湖博物館専門研究「植生と水質調節: 降雨流出時の水質変化の組成解析」（1995年度～）.

琵琶湖研究所プロジェクト研究「森林伐採が環境に及ぼす影響」のサブプロジェクト「森林土壌での水質形成過程の把握」: 研究分担者（1995年度～）.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年5月3日「春のブナ林探訪」フィールド観察会. 滋賀県余呉町高時川流域（丹生～針川～中河内）.

1998年8月8日, 9日, 23日, 24日 夏休み相談室. 琵琶湖博物館.

1998年8月20日「土のはなし」平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.

1999年1月13日, 16日「湖と森」博物館入門セミナー（第7期）「湖をめぐる自然と人間」. 琵琶湖博物館.

質問コーナーおよびフロアトーク、ガーデントークの主担当.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

屋外展示植栽苗木由来調査

植物標本資料収集整理

植物収蔵庫維持管理業務

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

屋外展示植栽維持管理業務（美濃部博と共同）。

屋外展示「太古の森」補植用移植木77本選定調査、根掘り、運搬指示。

台風7号による屋外植栽風倒災害復旧対策・屋外高木植栽原状回復対策（美濃部博と共同）。

印刷物

【一般向けの著作】

- 内田 臣一 (1998) 近江はトンボの宝庫. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (7): 4-5.
八尋 克郎・内田 臣一・蜻蛉研究会 [編] (1998) 琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」図録. 琵琶湖博物館, 草津. 32 pp.
Odonatological Society of Osaka (1998) Summary, Dragonflies and damselflies (Insecta: Odonata) of Shiga Prefecture, Honshu, Japan. *Research Report of the Lake Biwa Museum*, (10): 3-4 [translation from Japanese by Uchida, S. and Grygier, M. J.].

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 内田 臣一 (1998年6月27日) 滋賀のトンボの分布. 第1回琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館.
Uchida, S. (1998年8月22日) Four species of stoneflies (Plecoptera) from Lake Biwa, Honshu, Japan, and rediscovery of *Miniperla japonica* from the Hii River, Honshu. *XIIIth International Symposium on Plecoptera*. Tafí del Valle (Argentina). (Poster).
内田 臣一・八尋 克郎 (1998年10月4日) 琵琶湖博物館における昆虫データベース作り. 日本昆虫学会第58回大会, 第7回昆虫担当学芸員協議会総会. 滋賀県立大学 (滋賀県彦根市).
内田 臣一 (1998年10月16日) 琵琶湖水系のカワゲラ相 (昆虫綱, カワゲラ目). 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」: 研究代表者.
琵琶湖博物館専門研究「日本産カワゲラ科昆虫の分類学的再検討」.
河川整備基金助成事業「琵琶湖沿岸帯の水生昆虫相と生態」: 代表者.

【学会の役職・運営、論文の査読など】

- PERLA, newsletter and bibliography of the International Society of Plecopterologists: 編集委員.
日本昆虫学会第58回大会 (滋賀県立大学): 実行委員.
関西水生昆虫談話会第15~18回例会: 世話人 (三重県菰野町・滋賀県朽木村・京都府京田辺市・岐阜県で開催).

【大学での講義・実習、学生の指導など】

- 1998年前期 愛知工業大学土木工学科講義「自然生態学」.
1998年後期 同学科講義「土木環境工学」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年6月27日 滋賀のトンボの分布. 琵琶湖博物館第1回研究発表会. 琵琶湖博物館.
1998年7月26日 川の生き物探検. フィールド観察会. 滋賀県マキノ町知内川サイクリングロード周辺.
1998年8月8日 夏休み相談室 (水生昆虫担当). 琵琶湖博物館.
1998年8月9日 トンボをつかまえよう. フィールド観察会. 大津市真野谷口町.
1999年3月25~27日 淡水生物学講座ーカワゲラの同定. 専門講座. 大津市葛川梅ノ木町および琵琶湖博物館実習室.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年9月17日 近江はトンボの宝庫. 滋賀県環境部部門研修. 琵琶湖博物館.
1998年11月11日 川の水環境を生物で探る. 長野県総合教育センター環境教育研修講座. 塩尻市.

テレビ、ラジオへの出演

1998年8月4日 「レイクサイドモーニング77」 [企画展「近江はトンボの宝庫」] FM滋賀.
1998年8月9日 「ニュースパーク関西」 [観察会「トンボをつかまえよう」] NHK総合テレビ.
1998年8月21日 「ニュースパーク関西」 [環境を見つめる人々(トンボ研究会・澤田弘行さん)] NHK総合テレビ.
1998年10月19日 「ニュースパーク関西」 [琵琶湖ウィーク] NHK総合テレビ.
1999年1月26日 「レイクサイドモーニング77」 [あの頃はやったモノ] FM滋賀.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

水生昆虫液浸標本データベース: 採集記録サブデータベース作成, 3,300件.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

日本およびアルゼンチン産水生昆虫液浸標本: 採集・整理, 約500点.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」: 製作・開催.

館内人事、館外活動等に関すること

【海外渡航】

1998年8月18日～8月26日 アルゼンチン (Tafi del Valle) へ渡航. 第13回国際カワゲラシンポジウム参加・講演のため.

【館外の活動】

滋賀県生きもの総合調査昆虫類部会: 専門委員 (滋賀県自然保護課).

河川水辺の国勢調査 (底生動物調査) スクリーニンググループ: 委員 (1999年2月～; (財)リバーフロント整備センター).

水環境整備事業東海地方技術検討委員 ((社)農村環境整備センター).

印刷物

【学術論文】

- Frenette, J. -J., Vincent, W. F. and Legendre, L. (1998) Size-dependent C:N uptake by phytoplankton as a function of irradiance: ecological implications. *Limnology and Oceanography*, 43: 1362-1368.
- Quesada, A., Frenette, J. -J., Hayakawa, K. and Kumagai, M. (1999) Improving the understanding of cyanobacterial bloom formation mechanisms in Lake Biwa. *Journal of Lake Sciences*, 10: 349-354.

【専門分野の著作】

- Frenette, J. -J. (1999) Effect of light on phytoplankton community structure. In: M. Kumagai (ed.). *Cyanobacterial Risk Assessment for Biwako (CRAB)*. Lake Biwa Research Institute, Otsu.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- Frenette, J. -J. (1998年6月18~20日) Effects of watershed characteristics on phytoplankton biodiversity and productivity. *International Association for Landscape Ecology Meeting (IALE)*. 鳥根大学 (鳥根県松江市).
- Frenette, J. -J., Vincent, W. F. and Legendre, L. (1998年9月20~23日) Size-dependent C:N uptake by phytoplankton as a function of irradiance: ecological implications. 日本陸水学会第63回大会. 信州大学 (長野県松本市). [招待講演]
- Yoshioka, T., Ueda, S., Frenette, J. -J., Timoshkin, O. and Melnik, N. (1998年9月20~23日) Distribution of dissolved organic matter in Lake Baikal. 日本陸水学会第63回大会. 信州大学 (長野県松本市).
- Nakano, S., Nakajima, T., Kumagai, M., Hayakawa, K., Shunmai, S., Tsujimura, S., Frenette, J. -J. and Murabe, A. (1998年9月20~23日) Enclosed water area experiments and the eutrophicated area of Lake Biwa: thermal stratification of lake water and dominant phytoplankton. 日本陸水学会第63回大会. 信州大学 (長野県松本市).
- Jiao, J., Kumagai, M., Hayakawa, K., Tsujimura, S., Najima, T., Nakano, S. and Frenette, J. -J. (1998年9月20~23日) Enclosed water area experiments and the eutrophicated area of Lake Biwa: physical environments and Aoko cyanobacterial blooming. 日本陸水学会第63回大会. 信州大学 (長野県松本市).
- Frenette, J. -J. (1998年10月25~28日) Influence of light on phytoplankton community structure. *Cyanobacterial Risk Assessment for Biwako (CRAB) Workshop*. 滋賀県琵琶湖研究所 (滋賀県大津市). [招待講演]
- Frenette, J. -J. (1999年2月27日) Effect of light on phytoplankton community structure: biological impact of Aoko on its environment. *Akanoy Bay Enclosure Experiment (ABEE) Workshop*. 滋賀県琵琶湖研究所 (滋賀県大津市). [招待講演]

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館共同研究「Global changes in Lake Biwa Ecosystem: Historical Perspective」: 研究代表者.
- 琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸帯生態系の動態に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「カワウによる水域生態系から陸域生態系への物質移動とその影響」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「Controlling factors of bloom-forming cyanobacteria in Lake Biwa」.

【学会の役職・運営、論文の査読など】

- Limnology and Oceanography*: 投稿論文の査読.
- Journal of Plankton Research*: 投稿論文の査読.
- Canadian Journal of Fisheries and Aquatic Sciences*: 投稿論文の査読.
- Arctic*: 投稿論文の査読.

【大学での講義・実習、学生の指導など】

- カナダ・ラヴァル大学 (University of Laval) の修士論文1件の外部審査委員.
- インド・クヴェンブ大学 (UQTR-Kuvempu University) の博士論文2件の外部審査委員.

博物館事業に関する業績

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館英文展示ガイドの編集・執筆.

印刷物

【専門分野の著作】

木田 千代美 (1998) 植物相の変遷 (特集—古琵琶湖とその生物). アーバンクボタ ([株] クボタ, 大阪), 37: 12-15.

【一般向けの著作】

木田 千代美 (1998) 琵琶湖博物館地学研究室ニューズレター(2). 4 pp.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

木田 千代美・石田 志朗 (1999年2月19日) 京都市伏見区横大路の沖積層から産出した大型植物化石について. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

第2回琵琶湖博物館地学研究発表会 (1998年8月23日, 琵琶湖博物館) の運営・司会.

第15回琵琶湖博物館特別研究セミナー (1998年12月13日, 琵琶湖博物館) の企画.

第3回琵琶湖博物館地学研究発表会 (1999年2月14日, 琵琶湖博物館) の運営・司会.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」: 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「新生代における植物化石の研究」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年10月18日 「化石の採集会」 フィールド観察会. 三重県阿山郡大山田村.

1998年10月30日 「化石のしらべかた」 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 琵琶湖博物館.

1998年11月11日, 14日 「湖と大地の歴史—古琵琶湖層群の植物化石」 博物館入門セミナー (第7期) 「湖をめぐる自然と人間」. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年10月9日 古琵琶湖層群の植物化石について. 平成10年度滋賀県教職経験者研修I (滋賀県総合教育センター). 琵琶湖博物館.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館情報システム: 名簿データベースのデータ修正およびキーワードの整理、刊行物発送先選定.

琵琶湖博物館図書資料整備: 図書室運営体制の強化、収蔵資料の整理マニュアルづくり、閲覧等利用サービスの整備.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

石田志朗氏地学寄贈資料の受入と整理, 植物化石約500点を含む総数約1000点.

古琵琶湖団体研究グループ等による地学および現生植物寄贈標本の受入と整理, 総数約100点.

植物収蔵庫の環境整備, 収納作業スペースの確保.

植物レプリカ標本および樹脂包埋標本の整理とデータ入力, 約80点.

他の博物館等の資料整備活動

多賀町立多賀の自然と文化の館: 古琵琶湖層群の植物化石標本の整理と同定.
水口町立水口こどもの森: 古琵琶湖層群の植物化石標本の整理と同定.

【展示活動】

他の博物館等の展示活動

水口町立水口こどもの森: 常設展示, 展示標本の採集と同定.

【企画調整事業】

滋賀県博物館協議会事務局 広報委員. 「しが県博協だより11号」の企画・編集.
博物館うらおもてシリーズ第1号「(仮称)化石発見記」: 企画・編集.

印刷物

【学術論文】

- Yahiro, K. (1998) Comparative morphology of the alimentary canal and reproductive organs of the terrestrial Caraboidea (Coleoptera: Adephaga) Part 2. *Entomological Science*, 1: 47-53.
- Yahiro, K. (1998) Records of Carabid species from Okishima Island, Lake Biwa, Shiga Prefecture, Central Japan. *Elytra*, 26: 339-340.

【専門分野の著作】

- 八尋 克郎 (1998) オサムシ類. In: 日高 敏隆 [監修]・石井 実・大谷 剛・常喜 豊 [編] *日本動物大百科昆虫 III*. pp. 92-94. 平凡社, 東京.

【一般向けの著作】

- 内田 臣一・八尋 克郎・蜻蛉研究会 [編] (1998) 琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」図録. 32 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 八尋 克郎 (1998年8月21日) 滋賀県内におけるオサムシの分布. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 八尋 克郎 (1998年10月3日) 琵琶湖集水域におけるクロナガオサムシとオオクロナガオサムシの分布. 日本昆虫学会第58回大会. 滋賀県立大学 (滋賀県彦根市).
- 八尋 克郎 (1998年10月3日) 第2回地表性甲虫談話会世話人挨拶. 日本昆虫学会第58回大会. 滋賀県立大学 (滋賀県彦根市).
- 内田 臣一・八尋 克郎 (1998年10月4日) 琵琶湖博物館における昆虫データベース作り. 日本昆虫学会第58回大会, 第7回昆虫担当学芸員協議会総会. 滋賀県立大学 (滋賀県彦根市).
- 八尋 克郎 (1998年11月30日) 滋賀県におけるオサムシ類の分布. 琵琶湖博物館協議会. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「滋賀県内における地上徘徊性昆虫 (オサムシ・ゴミムシ) 類の分布」: 研究代表者.
- 琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間のモニタリングに関する研究」 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「オサムシ上科甲虫の系統分類学的研究および生態学的研究」.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本昆虫学会第58回大会: 実行委員.
- 地表性甲虫談話会事務局.
- 滋賀オサムシ研究会事務局.

【大学での講義・実習、学生の指導など】

- 滋賀県立大学卒業研究指導1名 (藤本 玲子).

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年6月6日 「ホテルのお宿」 フィールド観察会. 滋賀県山東町長岡.
- 1998年7月25日 昆虫標本作製. 体験学習. 琵琶湖博物館.

1998年8月2日 「虫の話し」 田んぼ体験教室. 琵琶湖博物館.
1998年8月9日 「トンボをつかまえよう」 フィールド観察会. 大津市真野谷口町.
1998年8月8日, 9日, 22日, 23日 夏休み相談室. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年6月28日 「野洲川河川敷の歩行虫類を調べよう」 守山市主催観察会. 滋賀県守山市立入町野洲川河川敷.
1998年8月22日 「夜の虫を観察する」 朽木生き物ふれあいの里主催観察会. 朽木生き物ふれあいの里(滋賀県朽木村).

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本データベース: 構築・画面設計.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖博物館昆虫乾燥標本資料の収集・整理.
琵琶湖博物館昆虫乾燥標本登録作業, 950件登録.
琵琶湖博物館昆虫資料購入, 1件.
研究用標本の貸出, 2件.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」(1998年7月18日～9月23日). 企画・製作.
常設展示の維持管理.
常設展示C展示室維持管理.
展示交流員の研修.

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチームリーダー.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会委員 ワーキングチームリーダー.

【館外の活動】

滋賀県生きもの総合調査昆虫類部会: 委員(1998年度～; 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課).
自然的環境・景観分科会: ワーキング担当者(1998年度; 滋賀県琵琶湖環境部水政課).

印刷物

【専門分野の著作】

- Maehata, M., K. Nagai and R. Arai (1998) Conservation and breeding program of endangered Japanese freshwater fishes. *CBSG (Conservation and Breeding Specialist Group) Annual Meeting Report*, 1-3.
- 前畑 政善 (1998) ウシモツゴ. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. pp. 144-145. (社) 日本水産資源保護協会.

【一般向けの著作】

- 水上 二己夫・布谷 知夫・嘉田 由紀子・前畑 政善・高橋 啓一・秋山 廣光・里口 保文・西村 佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (7), (8). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 前畑 政善 (1998) 私の逸品: のぞき写真. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (7): 5.
- 前畑 政善 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (17) イワトコナマス. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (208): 2.
- 前畑 政善 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (22) ナマス. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (213): 2.
- 前畑 政善・秋山 廣光・松田 征也・桑村 邦彦・桑原 雅之・中藤 容子 [桑原 雅之・桑村 邦彦・中藤 容子, 編] (1998) 水族企画展「南の島のさかなたちー琉球列島の淡水魚ー」(リーフレット). 琵琶湖博物館, 8 pp.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1999) うみんど [湖人] (9). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 前畑 政善 (1998年4月15日) 赤坂御所および常陸宮邸におけるニッポンバラタナゴの保護活動. ニッポンバラタナゴ研究会.
- 前畑 政善・関 慎一郎・橋本 慶子・吉川 慎一郎 (1998年6月11日) 琵琶湖周辺における稲作期に水田地帯へ侵入する淡水魚. 第64回 (社) 日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育者研修会. 琵琶湖博物館.
- 橋本 慶子・前畑 政善 (1998年6月11日) ドジョウの生活史と水田耕作との関係. 第64回 (社) 日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育者研修会. 琵琶湖博物館.
- 前畑 政善 (1998年6月27日) 琵琶湖周辺の水田を利用するナマズの生態. 第1回琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館.
- 前畑 政善 (1998年7月31日) 琵琶湖産ナマズの産卵生態 その後の進展はあったか? 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 前畑 政善 (1998年9月20日) 琵琶湖産ナマズの産卵生態. 1998年度日本魚類学会年会高知大会. 高知大学 (高知県高知市).
- 前畑 政善 (1998年10月10日) 日本産希少淡水魚の繁殖と保全. CBSG (Conservation and Breeding Specialist Group) 横浜会議. パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「日本産ナマス3種の産卵生態の研究」.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 「Fishery Science」レフリー 1件.

博物館事業に関する業績

【交流サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年5月10日 「淡水魚とは何か?」 博物館講座「淡水魚入門講座 (講義編)」. 琵琶湖博物館.

1998年9月13日 「淡水魚の調査法」 博物館講座「淡水魚入門講座(実習編)」, 琵琶湖博物館。
1998年9月27日 「魚類の野外調査」 博物館講座「淡水魚入門講座(実習編)」, 大津市田上大戸川。
1998年12月9日 「湖の魚」, 博物館入門セミナー水曜コース, 琵琶湖博物館。
1998年12月12日 「湖の魚」, 博物館入門セミナー土曜コース, 琵琶湖博物館。

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年4月25日 魚貝類調査の方法について, 生きもの総合調査協力員説明会(滋賀県自然保護課), 琵琶湖博物館。
1998年6月2日 琵琶湖の魚を通して環境を考える, 彦根市立稲枝中学校, 琵琶湖博物館。
1998年6月5日 琵琶湖の魚と環境, 滋賀県レイカディア大学必須講座「郷土理解(自然・歴史)の分野」, 滋賀県立長寿社会福祉センター(滋賀県大津市)。
1998年6月25日 魚などの飼育と観察の工夫, 第3回理科教育講座1(滋賀県総合教育センター), 琵琶湖博物館。
1998年7月2日 生きもののいのち「琵琶湖からのメッセージー自然との共生一」, 第41回全国私立保育園研究大会(びわこ大会)([社]全国私立保育園連盟), 琵琶湖博物館。
1998年7月5日 生物と環境, ふるさとを考える統一行動日(滋賀県青年団体連合会), 烏丸半島広場。
1998年7月9日 環境問題の現状と課題, 滋賀県小中学校事務主査研修(滋賀県総合教育センター), 琵琶湖博物館。
1998年7月31日 身近な生活の中から環境を: びわ湖の魚介と水質, 淡海生涯カレッジ講演(大津市仰木の里公民館), 琵琶湖博物館。
1998年8月8日 生きもののいのち, 大阪自然大学教養部([社]大阪自然環境保全協会), 琵琶湖博物館。
1998年8月12日 淡水魚入門「脊椎動物学」・「琵琶湖の魚」, 大阪シニア自然大学([社]大阪自然環境保全協会), 梅田東生涯学習ルーム(大阪府大阪市)。
1998年8月22日 淡水魚入門講座「野外実習」, 大阪シニア自然大学([社]大阪自然環境保全協会), 大津市田上大戸川。
1998年8月24日 淡水魚入門「脊椎動物学」, 大阪自然大学([社]大阪自然環境保全協会), 万国博覧会デリバ館(大阪府吹田市)。
1998年8月26日 淡水魚入門「琵琶湖の魚」・「日本の淡水魚の現状と保全」, 大阪自然大学([社]大阪自然環境保全協会), 梅田東生涯学習ルーム(大阪府大阪市)。
1998年8月31日 淡水魚入門講座「野外実習」, 大阪自然大学([社]大阪自然環境保全協会), 大津市田上大戸川。
1998年10月27日 魚類に親しむ体験, 平成10年度滋賀県教職経験者研修1講義(滋賀県総合教育センター), 琵琶湖博物館。
1998年11月20日 琵琶湖博物館開館後の現状と課題, 京都府立大学博物館実習, 琵琶湖博物館。

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館ホームページ: 掲載予定の水生生物一般質問回答集の監修・作成, 111題。

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

水田で採集された魚類・昆虫など, 約2,000点。

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

水族展示企画「南の島の魚たち」: 企画。

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館総務部企画調整課長を兼務(旧: 交流センター科長)。

【館外の活動】

希少野生動植物保存推進員(1997年6月9日~2000年6月30日, 環境庁自然保護局野生生物課)。

丹生ダム生態系保全検討委員会: 委員(1998年4月~1999年3月)。

滋賀県生きもの総合調査委員会: 専門委員(魚貝類部会長)(1997年6月30日~2001年3月31日, 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課)。

瀬田川砂防管内溪流環境整備計画検討委員会: 委員(1998年1月~1999年3月, 建設省近畿地方建設局琵琶湖工事事務所)。

絶滅のおそれある野生生物の評価検討委員会 淡水魚類分科作業部会: 委員(1997年6月9日~2000年3月31日, 環境庁自然保護局野生生物課)。

自然環境保全基礎調査検討会: 検討員(1998年6月1日~, 環境庁自然保護局野生生物課)。

印刷物

【一般向けの印刷物】

- 水上 二己夫・布谷 知夫・嘉田 由紀子・前畑 政善・高橋 啓一・秋山 廣光・里口 保文・西村 佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (7), (8). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1999) うみんど [湖人] (9). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「水生生態系と人間活動に関する総合研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「農村地域におけるビオトープに関する研究」.

博物館事業に関する業績

【交流サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年7月26日 「川の生き物探検」 フィールド観察会. 滋賀県高島郡マキノ町知内川.
- 1998年9月～11月. 「真野の今昔について調べてみませんか」 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業:
大津市立真野中学校.
10月19日 事前学習. 大津市立真野中学校.
10月30日 体験学習. 琵琶湖博物館.
- 琵琶湖博物館だより『うみんど [湖人]』の企画・編集・発送 (年4回) [主担当].
- 子供向け情報誌『うみっこ』の企画・編集・発送 (年2回) [主担当].
- 博物館行事案内の企画・編集・発送 (年2回) [主担当].
- 「田んぼ体験教室」 (全10回) の運営・指導 [主担当].
- 博物館屋外展示における生活実験工房および水田・畑の運営・管理.
博物館視察案内.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

- 映像資料「」の製作・監修.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

- 1998年10月～11月 ギャラリー展示「ワクワクたんぼ探検」 (滋賀県農政水産部と共催) の開催.

印刷物

【専門分野の著作】

- 用田 政晴 (1998) 書評 中井均著『近江の城—城が語る湖国の戦国史』. 考古学研究, 45 (1): 105-107.
- 用田 政晴・牧野 久実 [編] (1999) よみがえる丸子船—琵琶湖最後の伝統的木造船復元展示記録—. 琵琶湖博物館研究調査報告, (13).
- 用田 政晴 (1999) 丸子船復元製作展示への道. 琵琶湖博物館研究調査報告, (13): 1-12.
- 用田 政晴 (1999) 丸子船交流デスクでの活動. 琵琶湖博物館研究調査報告, (13): 81-86.
- 用田 政晴 (1999) 丸子船の映像—琵琶湖博物館所蔵資料を中心に—. 琵琶湖博物館研究調査報告, (13): 91-95.

【一般向けの著作】

- 用田 政晴 (1998) 私の逸品: 安土瓢箪山古墳出土の壺の小さな破片. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (6): 5.
- 用田 政晴 (1999) きたおち4,500年の検証. 北落歴史文化叢書シリーズ (II). 1-20.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 用田 政晴 (1998年6月27日) 湖上交通史の特質と丸子船の意味—琵琶湖博物館・丸子船交流デスクでの活動をきっかけに—. 第1回琵琶湖博物館研究発表会. 琵琶湖博物館.
- 用田 政晴 (1998年9月18日) 湖上交通史の画期と下物・芦浦地域の史的位置. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館専門研究「近江の地域性に関する考古学的研究」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年5月16日 「琵琶湖の湖底遺跡」 博物館入門セミナー (第6期) 「湖をとりまく自然と人間」. 琵琶湖博物館.
- 1998年11月21日 「歴史展示の舞台裏」 博物館探検. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年7月9日 琵琶湖博物館の設立経緯と歴史系展示. 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第39回例会報告. 琵琶湖博物館.
- 1998年9月12日 湖上交通の変遷と芦浦・下物の意義. くさつ・歴史発見塾. ウイングパレスくさつ (滋賀県草津市).
- 1998年11月29日 地中からのメッセージ—北落4,500年の検証. 創意と工夫の郷づくり事業北落学への誘い2. 北落公民館 (滋賀県甲良町).
- 1999年3月6日 岐阜女子大学博物館学芸員養成課程学生指導.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

- 琵琶湖博物館有形民俗資料: 整理・写真撮影, 約5,000点.
- 琵琶湖博物館燻蒸処理作業: 管理.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

- 琵琶湖博物館平成11年度企画展示「湖の船」: 企画・展示設計.
- 琵琶湖博物館ギャラリー展「赤野井湾遺跡発掘調査成果展」: 企画・展示構成.

他の博物館等の展示活動

滋賀県立安土城考古博物館平成11年度春季特別展「寧處に違あらずー古墳時代の戦乱ー」：企画構成.

印刷物

【一般向けの著作】

美濃部 博 (1999) テーマ「(川と水害) について調べてみませんか」を活用する手引き. In: 高橋 政宏・江島 稔 [編] 琵琶湖博物館学習プログラム集. 琵琶湖博物館. p. 121.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

美濃部 博 (1998年12月18日) びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業ー「川と水害」について調べてみようーについて. 滋賀県土木部第20回土木技術研究発表会. 滋賀県建設技術センター (滋賀県草津市).
 美濃部 博 (1999年1月22日) 著名洪水の降雨特性について. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
 高橋 政宏・江島 稔・美濃部 博・高本 雅之・澤村 幸夫 (1999年1月23日) 博物館と学校教育の連携についてーびわ湖・ミュージアムスクールモデル事業の取り組みからー. 滋賀大学教育学部付属環境教育湖沼実習センター第44回研究発表会. 滋賀大学教育学部 (滋賀県大津市).

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」: 研究代表者.
 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖流入河川の流出特性に関する研究」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年7月26日 「川の生き物探検」 フィールド観察会. 滋賀県高島郡マキノ町知内川.
 1998年9月～11月. 「川と水害」について調べてみよう. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校.
 10月19日 事前学習. 大津市立真野中学校.
 10月30日 「『川と水害』について調べてみませんか」 琵琶湖博物館.
 1998年11月25日, 28日 「湖と人の歴史」ー琵琶湖治水への取り組みから見た湖と人のかかわりー. 博物館入門セミナー (第7期) 「湖をめぐる自然と人間」. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年7月31日 水辺の生態系～ヨシを中心として～. 彦根市教育委員会・淡海生涯カレッジ講座. 琵琶湖博物館.
 1998年10月9日 琵琶湖の治水・利水について. 明石工業高等専門学校・都市システム工学科研修. 琵琶湖博物館.
 1998年11月6日 琵琶湖治水の歴史について. 淀川左岸治水促進期成同盟研修会. 琵琶湖博物館.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖周辺国土地理院撮影空中写真の購入, 2倍引伸印画509枚.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

ギャラリー展示「ワクワクたんば探検」 (1998年10月13日～11月15日開催) の企画・運営 (水上 二己夫と共同).
 屋外展示維持管理 (草加 伸吾と共同).
 台風7号による屋外植栽災害復旧対策・屋外高木植栽原状回復対策総括 (草加 伸吾と共同).
 環境絵馬展示ソフト: 更新、企画・管理.
 盲人用館内案内「ノマッド」: 改良、企画・製作.
 琵琶湖景観図サイン: 設置、企画・製作.

他の博物館等の展示活動

滋賀環境ビジネスメッセ出展「環境って何だろう」（1998年10月21日～23日；滋賀県長浜市長浜ドーム）の企画・運営
（楠岡 泰・戸田 孝と共同）。

館内人事、館外活動等に関する業績

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館研究部応用地域研究系調査員。

1998年4月1日 琵琶湖博物館事業部展示科科員を兼務。

印刷物

【専門分野の著作】

桑村 邦彦 (1999) 深泥池における外来魚資源抑制手法. In: 高橋智太郎 [編] 天然記念物「深泥池生物群集」保全事業にかかわる生物群集管理中間報告書～市民参加型の外来動物対策の試み～. 深泥池水生動物研究会, pp. 6-9.

【一般向けの著作】

桑村 邦彦 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (20) ゲンゴロウブナ. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (211): 1.
 桑村 邦彦 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (24) ギンブナ. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (216): 2.
 前畑 政善・秋山 廣光・松田 征也・桑村 邦彦・桑原 雅之・中藤 容子 [桑原 雅之・桑村 邦彦・中藤 容子, 編] (1998) 水族企画展「南の島のさかなたちー琉球列島の淡水魚ー」(リーフレット). 琵琶湖博物館, 8 pp.
 桑村 邦彦 (1999) 私の逸品: モクズガニ. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (9): 5.
 琵琶湖博物館 [編, 編集責任者: 桑村 邦彦・白井 幸子] (1999) 琵琶湖博物館業績目録(2) 1997年1月から1998年3月までの業績. 82 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

桑村 邦彦 (1999年1月22日) 滋賀県に生息するモクズガニの生態学的研究Ⅱー湖内で捕獲された標本からの知見. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「琵琶湖沿岸生態系の構造と動態に関する研究」: 研究協力者.
 琵琶湖博物館共同研究「社会的要因が内湖の生物環境に与える影響」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系に生息するモクズガニの生態学的研究」.
 深泥池水生動物研究会「外来魚資源抑制調査」: 研究分担者.

【大学での講義・実習、学生の指導など】

近畿大学農学部水産学科漁場学研究室卒業研究「琵琶湖内湖における魚類生息調査」1名指導.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年5月24日 「琵琶湖の魚と漁具漁法」 博物館講座: 淡水魚入門講座 (講義編). 琵琶湖博物館.
 1998年7月19日 「川のお魚探検」 フィールド観察会. 滋賀県近江町宇賀野.
 1998年7月29日 魚の採集と解剖実習. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.
 1998年7月30日 水族実習. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.
 1998年8月23日 琵琶湖博物館フィールドレポーター交流会. 琵琶湖博物館.
 1998年9月29日 琵琶湖博物館展示ワークシート実習. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 草津市立常盤小学校. 琵琶湖博物館.
 1998年10月19日 事前学習「琵琶湖で行われている漁業」 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 大津市立真野中学校.
 1998年10月26日 ミュージアムスクール研究発表会. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 草津市立常盤小学校. 草津市立常盤小学校.
 1998年10月30日 琵琶湖の水産業の現場を見てみよう. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 守山漁協・滋賀県栽培漁業センター.
 1998年11月8日 「ビワマス産卵観察会」 フィールド観察会. 滋賀県マキノ町知内川周辺.

1998年11月16日 ミュージアムスクール研究発表会. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 大津市立真野中学校.
1998年12月20日 琵琶湖博物館フィールドレポーター交流会. 琵琶湖博物館.
1999年3月7日 「水族館探検隊」 博物館探検. 琵琶湖博物館.
1999年3月14日 琵琶湖博物館フィールドレポーター交流会. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年6月25日 水族展示の裏舞台. 滋賀県教育センター理科教育講座. 琵琶湖博物館.
1998年10月8日 投網で捕った魚の解剖. 滋賀県教育センター教職経験者研修. 琵琶湖博物館.
1998年10月28日 琵琶湖と河川環境について. 内水面資源活用推進事業講習会 (滋賀県河川漁業協同組合連合会). 琵琶湖博物館.
1998年12月13日 エリ網による魚類調査の長所と短所. 第2回外来魚捕獲事業中間報告会 (深泥池水生動物研究会). 京都市山端自治会館.

テレビ、ラジオへの出演

1999年3月18日 「ETVサイエンスアイ」 [アユ研究最前線]. NHK教育テレビ.
1999年3月22日 「県政の窓」 [琵琶湖博物館フィールドレポーター募集]. KBS京都ラジオ.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備

滋賀県水産試験場・醒井養鱒場所蔵写真乾板複写.
近江水産図譜写真複写.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館水族企画展示「南の島の魚たち」: 企画・制作.
琵琶湖博物館平成12年度企画展「琵琶湖・食と漁業」: 基本設計作成.
水族トピック展示: 企画・運営.

【企画調整事業】

第64回 (社) 日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会: 開催運営.

館内人事、館外活動等に関する業績

【館内の人事】

1998年4月1日 琵琶湖博物館事業部交流センター科員を兼務 (旧: 事業部展示科員).

印刷物

【専門分野の著作】

桑原 雅之 (1998) ビワマス. In: 水産庁 [編] 日本の希少な野生水生生物に関するデータブック. (社) 日本水産資源保護協会, 東京. pp. 170-171.

【一般向けの著作】

桑原 雅之 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (11) ハス. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (212): 1.
前畑 政善・秋山 廣光・松田 征也・桑村 邦彦・桑原 雅之・中藤 容子 [桑原 雅之・桑村 邦彦・中藤 容子, 編] (1998) 水族企画展「南の島のさかなたちー琉球列島の淡水魚ー」(リーフレット). 琵琶湖博物館, 8 pp.

【これまでの博物館業績集に記載されなかった1998年3月以前の印刷物】

河村 功一・細谷 和海・岡崎 登志夫・桑原 雅之 (1988) 京都府鴨川水系高谷川で採集されたアジメドジョウ. 日本生物地理学会会報, 43 (12): 61-66.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での講演など】

桑原 雅之 (1998年9月20日) ビワマスの産卵に参加する残留型雄の存在. 1998年度日本魚類学会年会. 高知大学朝倉キャンパス (高知県高知市).
桑原 雅之 (1999年1月22日) ビワマスの産卵に参加する残留型雄の存在. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」: 研究協力者.
琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」: 研究協力者.
琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖水系に生息するビワマスとアマゴとの関係」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年5月17日 「琵琶湖の環境と魚」 博物館講座: 淡水魚入門講座 (講義編). 琵琶湖博物館.
1998年9月13日 「魚類の調査法」 博物館講座: 淡水魚入門講座 (実技編). 琵琶湖博物館.
1998年10月4日 「魚類の調査法 (野外実習)」 博物館講座: 淡水魚入門講座 (実技編). 大津市田上 (大戸川).
1998年11月8日 「ビワマス産卵観察会」 フィールド観察会. 滋賀県マキノ町知内 (知内川周辺).

他の博物館、組織・団体等の主催行事

1998年4月7日 琵琶湖の魚と環境. 滋賀県新入職員研修 (滋賀県). 琵琶湖博物館.
1998年7月29日 琵琶湖にすむ魚たちの暮らし. 東海大学付属仰星高校中等部, 琵琶湖博物館.
1998年10月13日 魚類に親しむ体験. 平成10年度教職経験者研修 (滋賀県総合教育センター). 琵琶湖博物館.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備

水族資料収集.
水族資料飼育管理.

他の博物館等の資料整備

(仮称) 島根県立水と魚の自然館: 建設・運営アドバイス.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示

琵琶湖博物館水族企画展示「南の島の魚たち」:企画・制作.

水族トピック展示:企画・運営.

【企画調整事業】

1998年8月6日 水族資料管理実地案内. 平成10年度博物館実習. 琵琶湖博物館.

第64回(社)日本動物園水族館協会近畿ブロック水族館飼育係研修会の開催運営.

印刷物

【学術論文】

- 宮本 真二 (1998) ネパール東部における埋没腐植土層の形成と森林破壊. *地学雑誌*, 107: 535-541.
 Miyamoto, S., Yasuda, Y. and Kitagawa, H. (1998) Palaeoenvironmental changes in the Last Glacial Maximum around the Wakasa Bay Area, Central Japan. In: Benito, G., Baker, V. R. and Gregory, K. J. [eds.] *Palaeohydrology and Environmental Change*. John Wiley and Sons, UK. pp. 139-152.

【一般向けの著作】

- 宮本 真二 (1998) 花粉化石が語る過去と未来. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (6): 6.
 宮本 真二 (1998) フィールドへ出よう! 考古学の発掘調査と古環境の「復原」. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), 8: 7.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 宮本 真二 (1998年3月27日) 中池見湿原堆積物の花粉分析. 第45回日本生態学会植生史談話会. 京都大学 (京都府京都市).
 宮本 真二 (1998年4月18日) 余呉湖湖底堆積物の層序および中世災害イベント. 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去1万年間の自然環境と人間活動の変遷」研究集会. 彦根市ステーションホテル (滋賀県彦根市).
 宮本 真二 (1998年4月26日) 地理学と博物館. 名古屋地理学会. 琵琶湖博物館.
 宮本 真二・兵主大社庭園保存整備委員会 (1998年6月6日) 近江盆地南部における中世庭園成立期の景観復原. 第41回歴史地理学会大会. 東京学芸大学 (東京都小金井市).
 宮本 真二 (1998年10月16日) ネパール・ヒマラヤにおける埋没腐植土層の形成と森林破壊. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
 宮本 真二 (1998年10月17日) ヒマラヤ山脈東部における埋没腐植土層の形成と環境変化. 東京地学協会秋季講演. 東京地学会館 (東京都千代田区).
 宮本 真二 (1998年11月1日) 余呉湖堆積物の研究紹介. 日産科学振興財団助成研究会. 京都大学 (京都府京都市).

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖, その成立と人間生態系の比較研究」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」: 研究分担者.
 琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去1万年間の自然環境と人間活動の変遷」: 研究代表者.
 琵琶湖博物館専門研究「最終間氷期以降における古環境変動の高精度復原」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館主催行事

- 1998年4月~12月 フィールド観察会、ミュージアム観察会、博物館講座、博物館専門講座、博物館探検、博物館入門セミナー実施担当.
 1998年6月20日 「昔の草津を歩く観察会」 フィールド観察会. 草津駅周辺 (滋賀県草津市).
 1998年9月6日 「福田正巳: マンモスはなぜ絶滅したか?—その謎をシベリア永久凍土に見いだす—」 琵琶湖博物館特別講演会. 琵琶湖博物館. [担当・司会]

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年7月8日 兵主大社庭園跡における花粉分析. 平成10年度第1回兵主神社庭園保存整備委員会. 兵主神社 (滋賀県中主町).
 1998年10月1日 発掘担当者が行う環境考古学, Geoarchaeology. 平成10年度(財)滋賀県文化財保護協会定例研究会((財)滋賀県文化財保護協会). 滋賀県文化財保護協会 (滋賀県大津市).

1998年10月27日 花粉化石からみた過去の環境. 平成10年度滋賀県教職経験者研修I (滋賀県教育センター). 琵琶湖博物館.

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

琵琶湖博物館インターネット情報システム、フィールド観察会、ミュージアム観察会、博物館講座、博物館専門講座、博物館探検、博物館入門セミナーの資料作成.

【館内の人事】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会ワーキングチーム員, 滋賀県立琵琶湖博物館館長.

【館外の活動】

国立民族学博物館共同研究員 (1998年4月1日～).

印刷物

【学術論文】

布谷 知夫 (1999) 博物館の場で行なわれるボランティアの位置付け. 博物館学雑誌, 24 (2): 19-28.

【専門分野の著作】

- 布谷 知夫 (1998) 博物館の教育活動: 人間と地球の未来を展望する. 第27回大阪総合科学シンポジウム日本科学者会議大阪支部, 56-57.
- 布谷 知夫 (1998) 水に育まれる私たちの暮らし. In: 郡 篤孝 [編] 経済と環境 6-産業の環境対応- (1997年度報告書). 同志社大学経済学部, 京都. pp. 133-136.
- 布谷 知夫 (1998) 準備室なれど博物館, 博物館なれど準備室. 展示学, (26): 3.
- 布谷 知夫 (1998) 市民社会と博物館その可能性を展望する (展示学会シンポジウムの記録). 展示学, (26): 12-27.
- 布谷 知夫 (1999) 地域に根ざした博物館作り: 北海道立社会教育総合センター. In: 博物館・郷土資料館経営専門研修講座資料集. 北海道立社会教育総合センター, 札幌. pp. 16-21.
- 布谷 知夫 (1999) 琵琶湖博物館が考える「環境」課題. 第6回全国科学博物館協議会研究発表大会資料, 33-38
- 布谷 知夫 (1999) 地域の暮らしから環境について考える博物館. In: 文部省内生涯学習・社会教育研究会 [編] 生涯学習情報ファイル. 第一法規出版株式会社, 東京. pp. 1423-1430.
- 布谷 知夫 (1999) 琵琶湖博物館におけるハンディキャップ対策とその評価. In: 平田 大二・奥野 花代子・田口 公則 [編] ユニバーサルミュージアムをめざして-視覚障害者と博物館: 生命の星地球博物館三周年記念論集, 神奈川県立生命の星地球博物館, 小田原. pp. 131-146.

【一般向けの著作】

- 水上 二己夫・布谷 知夫・嘉田 由紀子・前畑 政善・高橋 啓一・秋山 廣光・里口 保文・西村 佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (7), (8). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 布谷 知夫 (1998) いっしょに調べてみませんか 1. タンポポ. アンサンブル (カワイ音楽教育研究会), (377): 12-13.
- 布谷 知夫 (1998) いっしょに調べてみませんか 2. カタツムリ. アンサンブル (カワイ音楽教育研究会), (378): 16-17.
- 布谷 知夫 (1998) いっしょに調べてみませんか 3. セミのヌケガラと鳴き声. アンサンブル (カワイ音楽教育研究会), (379): 14-15.
- 布谷 知夫 (1998) いっしょに調べてみませんか 4. アオマツムシ. アンサンブル (カワイ音楽教育研究会), (380): 20-21.
- 布谷 知夫 (1998) いっしょに調べてみませんか 5. ヒガンバナ. アンサンブル (カワイ音楽教育研究会), (381): 14-15.
- 布谷 知夫 (1998) いっしょに調べてみませんか 6. セイタカアワダチソウ. アンサンブル (カワイ音楽教育研究会), (382): 22-23.
- 布谷 知夫 (1998) 二年目をむかえた琵琶湖博物館. 楓 (滋賀県造園技術者協議会), (59): 3-4.
- 布谷 知夫 (1998) タンポポ分布調査をすすめながら-自然観察のテーマ 23. 大阪自然観察指導員連絡会会報, (25): 2-4.
- 布谷 知夫 (1998) 雨粒による種子散布-自然観察のテーマ 24. 大阪自然観察指導員連絡会会報, (26): 2-4.
- 布谷 知夫 (1998) 「日本海」と「東海」. 月刊みんぱく (国立民族学博物館), 22 (11): 1.
- 布谷 知夫 (1998) 蜜を盗む虫, 虫をだます花-自然観察のテーマ 25. 大阪府自然観察指導員連絡会会報, (27): 2-5.
- 布谷 知夫 (1998) 自然の変化を見る-自然観察のテーマ 26. 大阪府自然観察指導員連絡会会報, (28): 2-4.
- 布谷 知夫 (1998) ドングリの食べかた-自然観察のテーマ 27. 大阪府自然観察指導員連絡会会報, (29): 2-5.
- 布谷 知夫・萩尾 敏子・白井 幸子 (1998) タンポポ調査中間報告書 (簡易印刷). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1999) うみんど [湖人] (9). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 布谷 知夫 (1999) 戦前戦後の自然観察-自然観察のテーマ 28. 大阪府自然観察指導員連絡会会報, (30): 2-4.
- 布谷 知夫 (1999) 里山の観察会から. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (9): 7.
- 中井 克樹・布谷 知夫 (1999) 滋賀県における住民参加型陸産貝類調査の試み. 貝類学雑誌 Venus, 58: 46. [要旨]

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 布谷 知夫（1998年5月24日） 市民社会と博物館. 日本展示学会シンポジウム「市民社会と博物館—その可能性を展望する」. 琵琶湖博物館.
- 布谷 知夫（1998年6月6日） 琵琶湖博物館の考え方. 第24回全日本博物館学会大会. 琵琶湖博物館.
- 布谷 知夫（1998年8月21日） 畦畔地を生息の場とする植物群の成り立ちについて. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 中井 克樹・布谷 知夫（1999年1月31日） 滋賀県における住民参加型陸産貝類調査の試み. 日本貝類学会創立70周年記念大会. 国立科学博物館分館（東京都新宿区）.
- 布谷 知夫（1999年3月11日） 琵琶湖博物館が考える「環境」課題. 第6回全国科学博物館協議会研究発表大会. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館共同研究「屋外展示空間のモニタリングに関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「博物館の評価に関する研究」.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

- 日本生態学会自然保護専門委員会: 委員.
- 1998: (財)日本自然保護協会: 評議員・普及委員.
- 1998: 関西自然保護機構: 理事.

【受賞など】

- 全日本博物館学会賞受賞（1998年度）.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年4月～6月 琵琶湖博物館タンポポ調査の実施.
- 1998年4月25日, 28日, 5月2日, 3日, 17日 タンポポ調査で何がわかるのか. タンポポ調査参加者説明会（琵琶湖博物館）. 琵琶湖博物館.
- 1998年6月21日 「昔の草津を歩く観察会」 フィールド観察会. 草津駅周辺（滋賀県草津市）.
- 1998年7月15日 「博物館は何をしているところ？」 博物館入門セミナー（第6回）「湖をめぐる自然と人間」（水曜日コース）. 琵琶湖博物館.
- 1998年7月18日 「博物館は何をしているところ？」 博物館入門セミナー（第6回）「湖をめぐる自然と人間」（土曜日コース）. 琵琶湖博物館.
- 1998年10月10日 草木染. 博物館体験学習（第2土曜日）. 琵琶湖博物館.
- 1998年10月24日 草木染. 博物館体験学習（第4土曜日）. 琵琶湖博物館.
- 1998年10月23日 事前学習: 草木染. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 大津市立真野中学校.
- 1998年10月30日 草木染. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校. 大津市立真野中学校.
- 1998年11月1日 「里山の観察会」 フィールド観察会. 大津市仰木附近.
- 1998年11月15日 「身近な木製品」 ミュージアム観察会. 琵琶湖博物館.

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年4月3日 学芸員の役割と責務. 金沢学院大学博物館見学実習. 琵琶湖博物館.
- 1998年4月25日 生きもの総合調査部会説明—植物部会の進めかた. 滋賀県生きもの総合調査協力員説明会（滋賀県自然保護課）. 滋賀県庁（滋賀県大津市）.
- 1998年4月26日 博物館での自然科学教育. 大阪総合科学シンポジウム（日本科学者会議大阪支部）. 関西大学（大阪府吹田市）.
- 1998年5月15日 琵琶湖博物館準備室の考え方と開館に向けての活動. 山梨県学術文化財委員会研修会. 琵琶湖博物館.
- 1998年5月16日 琵琶湖博物館準備室の考え方と現在. 滋賀県科学教育研究会研修会. 琵琶湖博物館.
- 1998年5月22日 琵琶湖博物館の考え方. 大阪桃山学院大学博物館見学実習. 琵琶湖博物館.
- 1998年5月24日 琵琶湖博物館の展示. 大阪市立美術館友の会研修会. 琵琶湖博物館.
- 1998年5月28日 琵琶湖の水環境について. 前橋市立第2中学校. 天津プリンスホテル（滋賀県大津市）.
- 1998年5月29-31日 自然観察の方法. 自然観察指導員講習会（日本自然保護協会）. 横浜市立子供の国（神奈川県横浜市）.

- 1998年6月9日 琵琶湖博物館とは、風の会研修会、琵琶湖博物館。
- 1998年6月12-14日 自然保護の考え方、自然観察指導員講習会（日本自然保護協会）、大阪長居ユースホテル（大阪府大阪市）。
- 1998年6月20日 琵琶湖博物館の考え方、成安造形大学博物館見学実習、琵琶湖博物館。
- 1998年6月24日 森林を通して環境を考える、関西電力社内環境教育、金居原電力発電所事務所（滋賀県木之本町）。
- 1998年7月7日 滅びゆく近畿の植物種—近郊の里山の自然、大阪市立環境学習センター市民講座、大阪市立環境学習センター（大阪府大阪市）。
- 1998年7月8日 草木染、信楽中学環境学習、琵琶湖博物館。
- 1998年7月10日 琵琶湖博物館のはたす役割、滋賀県健康福祉部部内研修、琵琶湖博物館。
- 1998年7月22日 木材利用の今昔、下之郷遺跡勉強会、下之郷遺跡現場事務所（滋賀県守山市）。
- 1998年7月26日 セイタカアワダチソウの層別刈り取り、滋賀県中学自然科学ゼミナール、琵琶湖博物館。
- 1998年7月28日 琵琶湖博物館の役割、阪南理科学研究会研修会、琵琶湖博物館。
- 1998年7月29日 琵琶湖博物館の理念と概要、関西大学博物館学実習、琵琶湖博物館。
- 1998年8月3日 博物館とは、平成10年度博物館学実習、琵琶湖博物館。
- 1998年8月3日 琵琶湖博物館の理念、平成10年度博物館学実習、琵琶湖博物館。
- 1998年8月4日 環境と人間とのかかわり、大阪府教育センター高等学校公民総合研修、琵琶湖博物館。
- 1998年8月28-30日 自然の観察、自然観察指導員講習会（（財）日本自然保護協会）、佐賀県武雄市。
- 1998年10月8日 草木染、滋賀県六年次教員研修（第1回）（滋賀県総合教育センター）琵琶湖博物館。
- 1998年10月13日 草木染、滋賀県六年次教員研修（第2回）（滋賀県総合教育センター）琵琶湖博物館。
- 1998年10月27日 草木染、滋賀県六年次教員研修（第3回）（滋賀県総合教育センター）琵琶湖博物館。
- 1998年11月10日 博物館は何をしている所だろう、佛科大学市民講座（佛科大学）、佛科大学四条センター（京都府京都市）。
- 1998年11月18日 環境問題と博物館、滋賀県学校長初任者研修（滋賀県総合教育センター）、滋賀県総合教育センター（滋賀県野洲町）。
- 1998年11月19日 環境について考える場としての博物館、平成10年度新任校長研修（滋賀県総合教育センター）、滋賀県総合教育センター（滋賀県野洲町）。
- 1998年11月24日 琵琶湖博物館の紹介、仏科大学市民講座（佛科大学）、佛科大学四条センター（京都府京都市）。
- 1998年11月26日 台所の植物学、坂田郡中学校理科部会研修、琵琶湖博物館。
- 1998年12月8日 琵琶湖博物館の概要と施設、仏科大学市民講座（佛科大学）、琵琶湖博物館。
- 1998年12月13日 足下から見た環境の考え方、蒲生町環境を守る生活推進大会（蒲生町教育委員会）、蒲生町あかね文化センター（滋賀県蒲生町）。
- 1999年1月16日 自然観察指導員—ここまでの道とこれからの道、第5回自然観察指導員全国大会シンポジウム（（財）日本自然保護協会）、東京都こどもの国（東京都港区）。
- 1999年1月28日 地域に根ざした博物館作り、博物館・郷土資料館経営専門研修講座（北海道立社会教育総合センター）、北海道立社会教育総合センター（北海道札幌市）。
- 1999年2月21日 植物分類学入門—植物図鑑を読み取るために、滋賀県生きもの総合調査協力員研修会（滋賀県自然保護課）、琵琶湖博物館。
- 1999年3月13日 自然保護にむすびつく自然観察会とは、そよごの会研修会、大阪長居ユースホテル（大阪府大阪市）。

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

ビデオ「滋賀の森林」：製作。

滋賀県博物館協議会発行「淡海の博物館」：編集。

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

桑島正二植物コレクション：整理事業。

館内人事、館外活動等に関すること

【館外の活動】

国指定天然記念物と泉葛城山保護検討委員会：委員（1998年）。

箕面山猿調査会：委員（1998年）。

ヨシ群落生態調査委員会：委員（1998年）。

滋賀県生き物総合調査専門部会：委員（1998年）。

地域養育活性化推進事業企画推進委員会：委員（1998年）。

滋賀県文化情報誌企画委員会：委員（1998年）。

滋賀県博物館協議会事務局（1998年）。

印刷物

【学術論文】

塩澤 光一・秋山 廣光 (1998) 電気刺激によるギギ胸鰭棘関節部での発音. 日本水産学会誌, 64: 1060-1061.

【専門分野の著作】

秋山 廣光 (1998) 湖北のハリヨ. In: 米原町教育委員会 [編] ハリヨ生態調査報告書. pp.7-14. 米原町教育委員会.

【一般向けの著作】

- 水上 二己夫・布谷 知夫・嘉田 由紀子・前畑 政善・高橋 啓一・秋山 廣光・里口 保文・西村 佳子 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (6). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1998) うみんど [湖人] (7), (8). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.
- 秋山 廣光 (1998) 琵琶湖の魚と環境 (23) カワバタモロコ. 日赤おおつ (大津赤十字病院), (215): 9.
- 秋山 廣光 (1998) ハリヨ. H2Oびわ湖会議 (びわ湖を守る水環境保全県民運動), (18): 3.
- 秋山 廣光 (1998) フィールドへ出よう: これは大変だ、自然がなくなってしまう. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (7): 7.
- 前畑 政善・秋山 廣光・松田 征也・桑村 邦彦・桑原 雅之・中藤 容子 [桑原 雅之・桑村 邦彦・中藤 容子, 編] (1998) 水族企画展「南の島のさかなたちー琉球列島の淡水魚ー」(リーフレット). 琵琶湖博物館, 8 pp.
- 秋山 廣光 (1998) 新選 淡海木間撰: ムギツク. Duet (サンライズ出版, 彦根), 59 (4): 5.
- 秋山 廣光 (1998) 土木職員専門研修用テキスト「川の生き物の生活」. 琵琶湖博物館, 13 pp.
- 水上 二己夫・布谷 知夫・高橋 啓一・里口 保文・秋山 廣光・前畑 政善・渡邊 裕也 [企画・編集] (1999) うみんど [湖人] (9). 8 pp. 琵琶湖博物館, 草津.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 秋山 廣光 (1998年5月15日) 米原町ハリヨ調査 その1ー滋賀県内のハリヨの分布について. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 秋山 廣光 (1999年3月19日) 魚類音響行動学への誘い (ギギの場合). 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館専門研究「魚類音響行動 (ギギの発音機構と利用) に関する研究」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年度 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 小学校編. プログラム原案作成 (高橋 政宏と共同).
- 1998年度 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 中学校編. プログラム原案作成 (江島 稔と共同).
- 1998年7月8日 体験学習 [指導]. 信楽町立信楽中学校. 琵琶湖博物館.
- 1998年7月~10月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 草津市立常盤小学校.
- 7月13日 オリエンテーション. 草津市立常盤小学校.
- 9月29日 琵琶湖博物館での体験学習. 琵琶湖博物館.
- 10月26日 結果発表会. 草津市立常盤小学校.
- 1998年7月29日 魚類解剖実習. 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校. 琵琶湖博物館.
- 1998年8月2日 「琵琶湖の魚は何を食べているか?」 ミュージアム観察会. 琵琶湖博物館.
- 1998年8月22日 夏休み相談室. 琵琶湖博物館.
- 1998年9月27日 「魚の撮影方法」 博物館講座: 淡水魚入門講座 (実践編). 琵琶湖博物館.

- 1998年10月～11月 「琵琶湖の魚や漁業を調べてみませんか」平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業：
 大津市立真野中学校。（桑村邦彦と共同）
 10月19日 事前学習。大津市立真野中学校。
 10月30日 琵琶湖博物館での体験学習。琵琶湖博物館。
 11月16日 結果発表会。大津市立真野中学校。
 1999年1月31日 「琵琶湖の水鳥観察会」ミュージアム観察会。烏丸半島および琵琶湖博物館。
 1999年2月7日 「琵琶湖の水鳥観察会」ミュージアム観察会。烏丸半島および琵琶湖博物館。

他の博物館、組織・団体等の主催行事

- 1998年6月13日 大戸川探検～魚の世界～。しがらき「遊学舎」（信楽町教育委員会生涯学習課）。信楽町役場（滋賀県信楽町）。
 1998年6月25日 琵琶湖の魚に関する体験学習。第3回理科教育講座1（滋賀県総合教育センター）。琵琶湖博物館。
 1998年7月17日 琵琶湖の魚など自然に関して。教育関係者体験航海（滋賀県立びわ湖フローティングスクール）。「うみのこ」船上（滋賀県琵琶湖）。
 1998年7月26日 教師を対象とした魚類解剖の実習指導。滋賀県中学校理科教育部会。琵琶湖博物館。
 1998年8月6日 魚の解剖。自然調査ゼミナール（滋賀県中学校理科教育部会）。琵琶湖博物館。
 1998年9月6日 琵琶湖の魚と種類について。滋賀県日本料理調理師湖友会研修会。旅亭紅葉（滋賀県大津市）。
 1998年9月30日 下水道と環境問題について。上下水道コンサルタント研修会。琵琶湖博物館。
 1998年10月20日 「琵琶湖の魚について」[講師]。草津市立草津小学校。琵琶湖博物館。
 1998年10月15日 琵琶湖の魚について。滋賀県農村整備連盟高島女性支部講習会。県立びわ湖こどもの国（滋賀県安曇川町）。
 1998年12月21日 県内の河川にすむ魚について。平成10年度土木職員専門研修「環境部門」（滋賀県土木部監理課技術管理室）。滋賀県建設技術センター（滋賀県草津市）。

テレビ、ラジオへの出演

- 1998年9月11日 「こちら海です」。KBS京都テレビ。

【情報整備活動】

琵琶湖博物館の情報整備活動

静止画資料貸出業務

- 1998年4月18日 建設省中部地方建設局庄内川工事事務所 魚類写真1点。
 1998年4月27日 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課 魚類写真転載67点、焼き付け貸出4点。
 1998年5月14日 (有)なずな出版 魚類写真1点、漁労写真2点。
 1998年5月14日 月刊アングラークリーク 魚類写真4点。
 1998年5月30日 (有)なずな出版 寄託資料(前野コレクション)1点、デジタル対応。
 1998年6月7日 沖島小学校 魚類写真15点、デジタル対応。
 1998年6月12日 (株)世界通信社 魚類写真など10点。
 1998年6月12日 大津紙業 魚類・水生生物写真5点。
 1998年7月2日 大津市歴史博物館 寄託資料(前野コレクション)3点。
 1998年7月2日 新興出版社啓林館 魚類写真1点。
 1998年7月2日 (株)日本技術開発 魚類写真1点。
 1998年7月6日 滋賀県土木部河港課 寄託資料(前野コレクション)6点、パネル貸出。
 1998年7月13日 (財)国際湖沼環境委員会(ILEC)支援研修課 湖沼写真1点。
 1998年7月20日 毎日新聞大津支局 魚類写真1点。
 1998年8月6日 (株)テラソフト 魚類写真11点。
 1998年8月26日 保津川を生かす会 魚類写真4点。
 1998年8月26日 読売新聞大阪本社 魚類写真1点。
 1998年9月2日 [有]アーバンクボタ 魚類写真2点。
 1998年9月14日 産経新聞大津支局 魚類写真8点。
 1998年9月3日 びわ湖会議 寄託資料(前野コレクション)4点。
 1998年9月26日 多賀の自然と文化の館 両生類写真1点。
 1998年10月5日 滋賀県土木部河港課 寄託資料(前野コレクション)2点。
 1998年10月16日 多賀の自然と文化の館 図版写真1点。
 1998年10月16日 (財)河川環境管理財団 寄託資料(前野コレクション)1点。
 1998年11月3日 中央公論社 魚類写真1点。
 1998年11月13日 草津市立教育研究所 魚類写真54点、貝類写真44点、甲殻類写真4点、鳥類写真32点。
 1998年12月4日 古高町自治会(守山市) 委託資料(藤村コレクション)26点。
 1998年12月8日 産経新聞大津支局 魚類写真6点。
 1998年12月13日 環境と食の研究会 魚類写真1点。

1998年12月26日 滋賀県立琵琶湖研究所 水生生物写真1点.
1999年1月20日 琵琶湖・淀川水質保全機構 魚類写真2点、デジタル対応.
1999年2月4日 滋賀県琵琶湖環境部自然保護課 魚類写真11点.
1999年2月14日 滋賀県農政水産部農村整備課 魚類写真1点、両生類写真2点、デジタル対応.
1999年2月24日 播磨田町史 委託資料(藤村コレクション) 13点.
1999年3月10日 多賀の自然と文化の館 両生類写真1点.
1999年3月23日 (株)エイエムエス 魚類写真7点.
1999年3月23日 滋賀県草津事務所土地改良課 寄託資料(前野コレクション) 4点.
1999年3月23日 (財)自然環境研究センター 魚類・水生生物写真8点、デジタル対応.
1999年3月24日 滋賀県草津事務所土地改良課 魚類写真2点、デジタル対応.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖文化館移管水族静止画(ネガ)資料登録整理予備作業, 31,500件.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館水族展示: 水槽内レイアウト指導.

他の博物館等の展示活動

大津市歴史博物館企画展「写真家前野隆資の世界～その近江へのまなざし」(1999年3月16日～3月28日; 実行委員会事務局).

館内人事、館外活動等に関すること

【館外の活動】

「動物名称統一検討委員会」動物名検討委員(1997年3月28日～; 日本動物園水族館協会).

農村環境計画検討委員会: 委員(1997年12月5日～1999年3月31日; 八日市市).

滋賀県博物館協議会: 研修委員.

前野隆資遺作展: 実行委員.

印刷物

【一般向けの著作】

高橋 政宏・江島 稔 [編] (1999) 琵琶湖博物館学習プログラム集. 琵琶湖博物館. 122 pp.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

高橋 政宏・江島 稔・美濃部 博・高本 雅之・澤村 幸夫 (1999年1月23日) 博物館と学校教育の連携についてーびわ湖・ミュージアムスクールモデル事業の取り組みからー. 滋賀大学教育学部付属環境教育湖沼実習センター第44回研究発表会. 滋賀大学教育学部 (滋賀県大津市).

高橋 政宏 (1999年3月19日) 琵琶湖博物館の特色を生かした教育活動の推進をめざして. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館共同研究「高等学校における博物館利用の実践的研究」: 研究代表者.

琵琶湖博物館専門研究「環境教育としての教材開発」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

1998年度 小・中・高等学校体験学習.

1998年度 エコ草津探検隊体験学習.

1998年度 フローティングスクール体験学習.

1998年6月～9月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校.

1998年7月～10月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 草津市立常磐小学校.

1998年9月～11月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校.

10月19日 事前学習 大津市立真野中学校.

10月30日 「身近な水を調べてみませんか」 琵琶湖博物館.

1998年4月11日, 25日 「春を感じてみよう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1998年5月9日, 23日 「琵琶湖のプランクトンを見よう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1998年7月11日 「ヨシ紙をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館

1998年7月25日 「標本をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1998年9月12日, 26日 「鉱物に親しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1998年10月10日, 24日 「草木染めで楽しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1998年11月14日, 28日 「木の実で遊ぼう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1998年12月12日 「鏡餅をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1999年1月9日, 23日 「水鳥に親しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1999年2月13日, 27日 「藁細工で楽しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

1999年3月13日, 27日 「ヨシ笛をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

研修会・視察対応

1998年4月7日 「草津市職員研修所新規採用職員研修」

1998年4月8日 「京都橘女子大学学外見学会」

1998年4月24日 「ノートルダム女学院講演見学研修」

1998年4月25日 「長岡京市教育委員会視察研修」

1998年4月29日 「草津市水体験学習会」

1998年5月20日 「岡山市教育委員会施設調査」

1998年5月26日 「近畿府県教育委員会指導事務主管部課長研修」

1998年6月3日 「佐賀県教育委員会文化課視察」
 1998年6月17日 「東京都江戸東京博物館視察」
 1998年6月23日 「埼玉県自然史博物館視察」
 1998年6月25日 「国家公務員初任行政研修」
 1998年6月25日 「教育センター理科教育講座」
 1998年7月25日 「全国市立保育園研究大会」
 1998年7月25日 「アメリカ合衆国ミシガン州高校生研修」
 1998年7月8日 「秋田県立博物館視察研修」
 1998年7月9日 「教育センター事務主査研修」
 1998年7月14日 「国際青年育成交流事業視察」
 1998年7月16日 「島根県教育委員会古代文化研究センター視察」
 1998年7月24日 「近畿高校教育研究協議会見学」
 1998年7月24日 「大阪府町村教育委員会教育委員視察」
 1998年7月25日、31日 「淡海生涯カレッジ講座」
 1998年7月29日 「兵庫県教育委員会社会教育文化財課事例調査」
 1998年7月30日 「京都市歴史資料館視察」
 1998年7月31日 「奈良県磯城郡田原本中学校理科部会研修」
 1998年7月31日 「大津市仰木の里公民館淡海生涯カレッジ」
 1998年7月31日 「教育旅行G L研修会」
 1998年8月4日 「長野県下伊那郡阿智村教育委員会視察」
 1998年8月12日 「海外技術研修員、留学生、交流研修員の見学」
 1998年8月19日 「守山市物部小学校校内研修」
 1998年8月22日 「草津チャレンジクラブ事業」
 1998年8月26日 「石川県門前町公民館研修」
 1998年9月6日 「立命館大学国際平和ミュージアム職員研修」
 1998年9月25日 「国立歴史民族博物館見学」
 1998年9月29日 「大潟村職員研修」
 1998年10月8日 「茨城県水戸市立博物館視察」
 1998年10月8日、9日、13日、27日 「教育センター教職経験者研修」
 1998年10月15日 「岡山県総社市教育委員会文化財専門委員視察」
 1998年10月16日 「文部省生涯学習局視察」
 1998年10月20日 「三重県教育委員会事務局生涯学習課施設見学」
 1998年11月27日 「鳥取市教育委員会教育委員行政視察」
 1998年11月8日 「木之本町青少年体験学習会」
 1998年11月10日 「近畿地区私学教育研修会環境部会研修」
 1998年11月11日 「青森県教育庁職員視察」
 1998年11月12日 「鹿児島県教育委員会文化財課視察」
 1998年11月12日 「国立科学博物館職員視察」
 1998年11月13日 「静岡県登呂博物館協議会委員視察」
 1998年11月17日 「ミュージアムパーク茨城県自然博物館視察」
 1998年11月18日 「浜松市教育委員会視察」
 1998年11月19日 「滋賀県教育課題特別研修会研修」
 1998年11月20日 「岐阜県立高等学校岐阜地区教頭会研修視察」
 1998年11月22日 「倉敷科学センター視察」
 1998年11月25日 「北海道開拓記念館調査」
 1998年11月26日 「坂田郡中学校教育研究会理科部会研修」
 1998年12月4日 「西濃地区社会教育委員連絡協議会研修視察」
 1998年12月6日 「近畿地区こども会育成指導者協議会施設見学」
 1998年12月9日 「国立歴史民俗博物館施設見学」
 1999年1月9日 「静岡県教育委員会東部教育事務所視察」
 1999年1月19日 「県立学校湖西地区初任者研修」
 1999年1月27日 「ラオス個別一般研修員施設見学」
 1999年1月29日 「川崎市青少年科学館施設見学」
 1999年2月4日 「岡山県都市教育委員会教育長協議会施設見学」
 1999年2月5日 「犬上郡環境教育部会施設見学」
 1999年2月16日 「栃木県保健福祉部児童家庭課施設見学」
 1999年2月17日 「国立歴史民俗博物館職員視察」
 1999年2月19日 「文部省教科書課視察」
 1999年2月24日 「さいたま文学館職員視察」

1999年2月25日 「浜松市開湖500年祭実行委員会職員視察」
1999年3月4日 「石川県教育委員会生涯学習課視察」
1999年3月4日 「甲賀町教育委員会研修」
1999年3月10日 「近畿府県教育委員会同和教育指導主事研修」
1999年3月16日 「福岡県総務部国立博物館対策室職員研修」
1999年3月25日 「熊本県環境センター職員視察」
1999年3月25日 「石川県金沢泉丘高等学校教員研修」
1999年3月31日 「名古屋市総合教育センター研修」

印刷物

【一般向けの著作】

- 高橋 政宏・江島 稔 [編] (1999) 琵琶湖博物館学習プログラム集. 琵琶湖博物館. 122 pp.
 江島 稔 (1999) テーマ「湖と人間」を活用する手引き. In: 高橋 政宏・江島 稔 [編] 琵琶湖博物館学習プログラム集. 琵琶湖博物館. p. 122.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- 高橋 政宏・江島 稔・美濃部 博・高本 雅之・澤村 幸夫 (1999年1月23日) 博物館と学校教育の連携についてーびわ湖・ミュージアムスクールモデル事業の取り組みからー. 滋賀大学教育学部付属環境教育湖沼実習センター第44回研究発表会. 滋賀大学教育学部 (滋賀県大津市).
 江島 稔 (1999年2月19日) 石部高校の実践報告. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館共同研究「高等学校における博物館利用の実践的研究」: 研究代表者.
 琵琶湖博物館専門研究「環境教育としての教材開発」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

琵琶湖博物館の主催行事

- 1998年度 小・中・高等学校体験学習.
 1998年度 エコ草津探検隊体験学習.
 1998年度 フローティングスクール体験学習.
 1998年4月11日, 25日 「春を感じてみよう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1998年5月9日, 23日 「琵琶湖のプランクトンを見よう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1998年6月～9月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 滋賀県立石部高等学校.
 1998年7月～10月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 草津市立常磐小学校.
 1998年7月11日 「ヨシ紙をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館
 1998年7月25日 「標本をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1998年9月～11月 平成10年度びわ湖・ミュージアムスクールモデル事業: 大津市立真野中学校.
 10月19日 事前学習 大津市立真野中学校.
 10月30日 「小さな生きもの(プランクトン)を調べてみませんか」 琵琶湖博物館.
 1998年9月12日, 26日 「鉱物に親しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1998年10月10日, 24日 「草木染めで楽しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1998年11月14日, 28日 「木の実で遊ぼう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1998年12月12日 「鏡餅をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1999年1月9日, 23日 「水鳥に親しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1999年2月13日, 27日 「藁細工で楽しもう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.
 1999年3月13日, 27日 「ヨシ笛をつくろう」 体験学習の日事業. 琵琶湖博物館.

研修会・視察対応

- 1998年4月7日 「草津市職員研修所新規採用職員研修」
 1998年4月8日 「京都橘女子大学学外見学会」
 1998年4月24日 「ノートルダム女学院講演見学研修」
 1998年4月25日 「長岡京市教育委員会視察研修」
 1998年4月29日 「草津市水体験学習会」
 1998年5月20日 「岡山市教育委員会施設調査」

1998年5月26日 「近畿府県教育委員会指導事務主管部課長研修」
 1998年6月3日 「佐賀県教育委員会文化課視察」
 1998年6月17日 「東京都江戸東京博物館視察」
 1998年6月23日 「埼玉県自然史博物館視察」
 1998年6月25日 「国家公務員初任行政研修」
 1998年6月25日 「教育センター理科教育講座」
 1998年7月25日 「全国市立保育園研究大会」
 1998年7月25日 「アメリカ合衆国ミシガン州高校生研修」
 1998年7月8日 「秋田県立博物館視察研修」
 1998年7月9日 「教育センター事務主査研修」
 1998年7月14日 「国際青年育成交流事業視察」
 1998年7月16日 「島根県教育委員会古代文化研究センター視察」
 1998年7月24日 「近畿高校教育研究協議会見学」
 1998年7月24日 「大阪府町村教育委員会教育委員視察」
 1998年7月25日、31日 「淡海生涯カレッジ講座」
 1998年7月29日 「兵庫県教育委員会社会教育文化財課事例調査」
 1998年7月30日 「京都市歴史資料館視察」
 1998年7月31日 「奈良県磯城郡田原本中学校理科部会研修」
 1998年7月31日 「大津市仰木の里公民館淡海生涯カレッジ」
 1998年7月31日 「教育旅行GL研修会」
 1998年8月4日 「長野県下伊那郡阿智村教育委員会視察」
 1998年8月12日 「海外技術研修員、留学生、交流研修員の見学」
 1998年8月19日 「守山市物部小学校校内研修」
 1998年8月22日 「草津チャレンジクラブ事業」
 1998年8月26日 「石川県門前町公民館研修」
 1998年9月6日 「立命館大学国際平和ミュージアム職員研修」
 1998年9月25日 「国立歴史民族博物館見学」
 1998年9月29日 「大潟村職員研修」
 1998年10月8日 「茨城県水戸市立博物館視察」
 1998年10月8日、9日、13日、27日 「教育センター教職経験者研修」
 1998年10月15日 「岡山県総社市教育委員会文化財専門委員視察」
 1998年10月16日 「文部省生涯学習局視察」
 1998年10月20日 「三重県教育委員会事務局生涯学習課施設見学」
 1998年11月27日 「鳥取市教育委員会教育委員行政視察」
 1998年11月8日 「木之本町青少年体験学習会」
 1998年11月10日 「近畿地区私学教育研修会環境部会研修」
 1998年11月11日 「青森県教育庁職員視察」
 1998年11月12日 「鹿児島県教育委員会文化財課視察」
 1998年11月12日 「国立科学博物館職員視察」
 1998年11月13日 「静岡県登呂博物館協議会委員視察」
 1998年11月17日 「ミュージアムパーク茨城県自然博物館視察」
 1998年11月18日 「浜松市教育委員会視察」
 1998年11月19日 「滋賀県教育課題特別研修会研修」
 1998年11月20日 「岐阜県立高等学校岐阜地区教頭会研修視察」
 1998年11月22日 「倉敷科学センター視察」
 1998年11月25日 「北海道開拓記念館調査」
 1998年11月26日 「坂田郡中学校教育研究会理科部会研修」
 1998年12月4日 「西濃地区社会教育委員連絡協議会研修視察」
 1998年12月6日 「近畿地区こども会育成指導者協議会施設見学」
 1998年12月9日 「国立歴史民俗博物館施設見学」
 1999年1月9日 「静岡県教育委員会東部教育事務所視察」
 1999年1月19日 「県立学校湖西地区初任者研修」
 1999年1月27日 「ラオス個別一般研修員施設見学」
 1999年1月29日 「川崎市青少年科学館施設見学」
 1999年2月4日 「岡山県都市教育委員会教育長協議会施設見学」
 1999年2月5日 「犬上郡環境教育部会施設見学」
 1999年2月16日 「栃木県保健福祉部児童家庭課施設見学」
 1999年2月17日 「国立歴史民俗博物館職員視察」
 1999年2月19日 「文部省教科書課視察」

- 1999年2月24日 「さいたま文学館職員視察」
- 1999年2月25日 「浜松市開湖500年祭実行委員会職員視察」
- 1999年3月4日 「石川県教育委員会生涯学習課視察」
- 1999年3月4日 「甲賀町教育委員会研修」
- 1999年3月10日 「近畿府県教育委員会同和教育指導主事研修」
- 1999年3月16日 「福岡県総務部国立博物館対策室職員研修」
- 1999年3月25日 「熊本県環境センター職員視察」
- 1999年3月25日 「石川県金沢泉丘高等学校教員研修」
- 1999年3月31日 「名古屋市総合教育センター研修」

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」の企画.

印刷物

【学術論文】

- Grygier, M. J. and Nomura, K. (1998) Cysticolous Myzostomida, *Notopharyngoides platypus* from *Comanthina nobilis* (Echinodermata: Crinoidea), at Kushimoto, Honshu, Japan. *Species Diversity*, 3: 17-24.
- Grygier, M. J., 1998, Nomenclatural appendix. Pp. 101-103 in Eeckhaut, I., 1998, *Mycomyzostoma calcidicola* gen. et sp. nov., the first extant parasitic myzostome infesting crinoid stalks, with a nomenclatural appendix by M. J. Grygier. *Species Diversity*, 3:89-103.
- Eeckhaut, I., Grygier, M. J. and Deheyn, D. (1998) Myzostomes from Papua New Guinea, with related Indo-West Pacific distribution records and description of five new species. *Bulletin of Marine Science*, 62: 841-886.

【専門分野の著作】

- Grygier, M. J. (1998) Comment on the proposed conservation of *Disparalona* Fryer, 1968 (Crustacea, Branchiopoda). *Bulletin of Zoological Nomenclature*, 55: 105.
- Grygier, M. J. and Timoshkin, O. A. (1998) 琵琶湖動物相多様性は極めて過小評価されてきた。タクサ (日本動物分類学会), 5: 23.
- 大塚 攻・Grygier, M. J.・鳥越 兼治 (1999) 海底洞窟性甲殻類の系統、動物地理、生態について。タクサ (日本動物分類学会), 6: 3-13.

【一般向けの著作】

- 生津 恵子・高橋 啓一・里口 保文・芦谷 美奈子・マーク J. グライガー (1999) 琵琶湖博物館第6回企画展示「絶滅と進化—動物化石が語る東アジア500万年—」図録。琵琶湖博物館, 草津. 64 pp.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

- Grygier, M. J. and Timoshkin, O. A. (1998年4月5日) The faunal diversity of Lake Biwa has been drastically underestimated. 日本動物分類学会第34回大会. 神奈川県立生命の星・地球博物館 (神奈川県小田原市).
- Grygier, M. J. and Ohtsuka, S. (1998年7月20日) An undescribed genus of monstrilloid copepods from coral reef plankton. *Fourth International Crustacean Congress*. University of Amsterdam (The Netherlands).
- Grygier, M. J. (1998年7月28日) Natural history collections in Japan, their use and management. 大英自然史博物館 (イギリス).
- Grygier, M. J., Ferrari, F. D. and Kusuoka, Y. (1998年11月7日) New records of Japanese clam shrimp (Branchiopoda: Spinicaudata and Laevicaudata), with a reevaluation of thoracopodal homonymy in *Caenestheriella gifuensis*. 日本甲殻類学会第36回大会. 九州大学農学部 (福岡県福岡市).
- Grygier, M. J. (1998年12月18日) New records of Japanese clam shrimp (Branchiopoda: Spinicaudata and Laevicaudata), with a reevaluation of thoracopodal homonymy in *Caenestheriella gifuensis*. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.
- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料整理・保管と利用に関する研究」第2回琵琶湖の魚類の寄生虫の共同研究会 (1998年5月22日~24日, 琵琶湖博物館) 企画・運営.
- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料整理・保管と利用に関する研究」カイアシ類 (ケンミジンコ, ソコミジンコ) のワークショップ (1998年11月25日, 琵琶湖博物館) 企画・運営.
- 琵琶湖博物館第15回特別研究セミナー (1999年3月17日, 琵琶湖博物館) 運営・司会.
- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料整理・保管と利用に関する研究」淡水 (琵琶湖) カイミジンコ類のワークショップ (1999年3月24日, 琵琶湖博物館) 企画・運営.

【研究プロジェクト等への参加】

- 琵琶湖博物館総合研究「博物館資料整理・保管と利用に関する研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館総合研究「水生生態系と人間活動に関する総合研究」: 研究分担者.
- 琵琶湖博物館専門研究「甲殻類の系統分類学と比較後胚子発生」: 研究代表者.

【学会等の役職・運営、論文の査読など】

日本動物分類学会「Species Diversity」: Associate Editor.

日本ベントス学会「Benthos Research」: 編集委員 (English editor).

日本付着生物学会「Sessile Organisms」: 編集委員 (English editor).

Zoological Institute, Russian Academy of Sciences「Zoosystematica Rossica」: International Advisory Board.

Journal of Crustacean Biology (The Crustacean Society): 投稿論文の査読, 1件.

Proceedings of the Biological Society of Washington (Biological Society of Washington): 投稿論文の査読, 1件.

Japanese Journal of Limnology (日本陸水学会): 投稿論文の査読, 1件.

Contributions to Zoology (University of Amsterdam): 投稿論文の査読, 1件.

Fourth International Crustacean Congress: 論文集投稿論文の査読, 1件.

【Advances in Copepod Taxonomy: a Tribute to Ulrich Einsle】: 論文の査読, 4件.

博物館事業に関する業績

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖博物館無脊椎動物 (昆虫、貝類以外): 標本受け入れ, 約450件 (2種のholotypes, 9種のparatype lotsを含む).

琵琶湖博物館無脊椎動物 (昆虫、貝類以外): 標本貸出, 1件.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

琵琶湖博物館第5回企画展「近江はトンボの宝庫」: 「トンボの起源」コーナー企画・製作 (化石), 英文の編集委員.

【企画調整事業】

世界古代湖会議論文集「Ancient Lakes: Their Cultural and Biological Diversity」編集部.

英文の要覧「Lakes and People: Toward a Better, Symbiotic Relationship. A Guide to the Lake Biwa Museum」の校正.

館内人事、館外活動等に関すること

【海外渡航】

1998年7月19日～30日 オランダ・イギリスへ出張. 自然史系標本の利用の実態、標本管理の状況、および欧州の主要な3博物館、アムステルダム動物学博物館 (オランダ、アムステルダム、アムステルダム大学)、国立自然史博物館 (オランダ、ライデン)、大英自然史博物館 (英国、ロンドン) における慣習の調査のため.

【館外の活動】

(米国) スミソニアン研究所国立自然史博物館: 協力研究員 (無脊椎動物研究科).

(米国) ロサンゼルス郡立自然史博物館資料・研究部: 協力研究員 (無脊椎動物学研究科).

印刷物

【専門分野の著作】

橋本 道範 (1998) 第39回例会報告 県域の歴史資料情報の共有化に向けた試みー「歴史資料情報のネットワーク化に関する研究」についてー. *Network* (全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会会報), (12): 8-9.

【一般向けの著作】

橋本 道範 (1998) エリはなぜ琵琶湖で進化したのか. うみんど [湖人] (琵琶湖博物館), (8): 6.

安井 努・蔭山 兼治・橋本 道範 (1998) 近江の地下・惣について. In: 日の出町自治会長・同街づくり推進委員会委員長 [編] わが街のあゆみときまりー高宮町日の出東町ー. 高宮町日の出東町, 彦根. pp. D1-D4.

研究活動に関する業績

【学会・研究会での発表など】

橋本 道範 (1998年5月31日) 対問型裁許状論にむけてー海津一朗氏の徳政論の検討を手始めにー. 中世裁許状研究会. 京大会館 (京都府京都市).

橋本 道範 (1998年7月9日) 琵琶湖博物館と県域の歴史資料情報の共有化に向けた試みー「歴史資料情報のネットワーク化に関する研究」についてー. 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会近畿部会第39回例会. 琵琶湖博物館.

橋本 道範 (1998年11月27日) 中世琵琶湖におけるエリ漁業権の展開と村落共同体ー後編. 琵琶湖博物館研究セミナー. 琵琶湖博物館.

橋本 道範 (1999年1月9日) 中世地域社会像の再構築のためにー池氏による藤木氏批判についてのコメントー. 大阪歴史科学協議会例会. 大阪市立社会福祉センター (大阪府大阪市).

橋本 道範 (1999年1月21日) 滋賀県における歴史資料基本台帳の作成と運用にむけて. 第2回滋賀県歴史資料担当者研究会 (琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」). 琵琶湖博物館.

【研究プロジェクト等への参加】

琵琶湖博物館総合研究「博物館資料の整理・保管と利用に関する研究」: 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「水田生態系と人間活動に関する総合研究」: 研究分担者.

琵琶湖博物館総合研究「東アジアの中の琵琶湖、その成立と人間生態系に関する総合研究」: 研究分担者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖集水域における中世村落の考古・文献資料の総合的評価にもとづく研究」: 研究代表者.

琵琶湖博物館共同研究「琵琶湖周辺域における過去1万年間の自然環境と人間活動の変遷」: 研究分担者.

琵琶湖博物館専門研究「琵琶湖関係古文書に関する歴史的評価」.

博物館事業に関する業績

【交流・サービス活動】

1998年7月1日 滋賀県立大学人間文化学部「環琵琶湖文化論実習」. 琵琶湖博物館.

1998年7月25日 佛教大学通信教育部博物館学芸員資格取得課程「平成10年度博物館見学実習」. 琵琶湖博物館.

1998年10月8日 中世琵琶湖におけるエリ漁業権の展開と村落共同体. 平成10年度滋賀県教職経験者研修 I (1班) (滋賀県教育センター). 琵琶湖博物館.

【資料整備活動】

琵琶湖博物館の資料整備活動

琵琶湖博物館歴史資料購入, 4件.

琵琶湖博物館歴史資料の一時保管先よりの搬入.

収蔵庫等環境測定.

【展示活動】

琵琶湖博物館の展示活動

常設展示B展示室維持管理.
展示交流員特別研修.

【企画調整事業】

琵琶湖博物館中長期計画検討委員会: ワーキングチーム員.

館内人事、館外活動等に関すること

【館内の人事】

1998年7月10日 琵琶湖博物館中長期計画検討委員会ワーキングチーム員, 滋賀県立琵琶湖博物館館長.

琵琶湖博物館業績目録 第3号

1998年度

2000年（平成12年）3月 発行

編 集：滋賀県立琵琶湖博物館

（編集責任者 中井克樹）

発 行：滋賀県立琵琶湖博物館

〒525-0001 滋賀県草津市下物町1091

電話：077-568-4811

印 刷：(有)ひがし印刷

© 滋賀県立琵琶湖博物館 2000年

Printed in Japan



この冊子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

Performance Records of the Lake Biwa Museum

No. **3** Fiscal 1998



LAKE BIWA MUSEUM

滋賀県立
琵琶湖博物館

〒525-0001 草津市下物町1091
TEL.077-568-4811(代) FAX.077-568-4850

LAKE BIWA MUSEUM

1091 Oroshimo,Kusatsu,
Shiga 525-0001,Japan